

公益財団法人勤労者福祉ネットワーク2025 年度事業報告書

(2026 年 6 月 4 日第 51 回理事会承認／2026 年 6 月 23 日第 14 回評議員会承認)

はじめに

2025 年は、戦後 80 年の節目の年。明治維新から終戦までの 80 年間は、「侵略と戦争」の歴史でした。その反省に立って始まった戦後 80 年は、平和憲法に基づく「基本的人権・民主主義・平和」の理念を掲げた時代でした。80 年が経過した今、私たちは新たな歴史の岐路に立たされています。

また、2025 年は国際連合が定めた第 2 回国際協同組合年にあたります（第 1 回は 2012 年）。私たちは改めて世界の人々と連帯し、被爆から 80 年を迎える節目に、日本被団協のノーベル平和賞受賞を機に「核なき世界平和」の実現をめざし、すべての国が核兵器禁止条約に加盟することを求めてまいります。

一方で、コロナ禍に端を発する経済の疲弊に加え、米をはじめとする生活必需品の高騰が続き、勤労者の賃金は追いついていません。団塊の世代が後期高齢者となることで、医療・介護・社会保障などの分野でさまざまな課題の発生が予想されています。また、少子化による労働力人口の減少や格差の拡大に歯止めがかからず、日本の相対的貧困率は、OECD 加盟国 30 カ国中 4 位、日米欧主要 7 カ国（G7）内では 7 カ国中 2 位となっています。

このような時代だからこそ、私たちは徳島が生んだ世界的偉人である賀川豊彦の精神に学び、財団の理念である「人々の連帯を軸とした共助・共生の福祉社会」の実現に向けて、決意を新たに歩んでまいります。

私たちは、山積する社会課題や変化する社会状況に対し、柔軟な発想で挑戦し、この度策定した「中期ビジョン 2030」を道標に、10 年後も地域社会から必要とされる存在であり続けることをめざします。スタッフ一同で知恵を出し合い、事業の展開に取り組んでまいります。

【2025 年度重点目標】

- (1)「子育て」「子育て」の新たな支援として、①全中学校での『赤ちゃん授業』の実施(47 ページ)、②絵本こども図書室(車)の設置、③学童保育の公設民営による拡充(46 ページ)に取り組む。
- (2)『アップデート基本構想』の具体化を進め、あわ～ず会員 2 万人の早期達成をはかる。(17 ページ～)
- (3) マリッサとくしま発足 10 周年(議案書 48 ページ)、ハートフルゆめ基金設立 10 周年(54 ページ)、くーぼん丸。開始 20 周年(63 ページ)の記念事業を実施し、事業の更なる拡充をめざす。
- (4) 外国人と共に多文化共生の徳島へ向けた交流拠点として『つながりカフェ』を開設する。(58 ページ)
- (5) 我が郷土が育んだ、世界の三大聖人の一人であり、4 回のノーベル平和賞候補者である“協同組合の父”賀川豊彦の『友愛・互助・平和』の精神(12 ページ～)に基づき、関係団体の皆さんと共に、戦後(被爆)80 年(14 ページ)並びに国際協同組合年の記念事業に取り組む。

※本議案書は、公益認定に係る県への報告様式に基づき、「機関運営」「公益目的事業」「収益事業」の区分で構成しています。一方、理事会での報告は、年度の重点課題に沿って全体像を分かりやすく説明するため、記載順と異なる構成で行っています。このため、各重点課題に対応する詳細は、該当ページをご参照いただけるようページ番号を付記しています。

総務部

当財団の事業が、県民の労働者福祉に寄与できるよう、そのことを職員ひとり一人が共有し認識したうえで事業に取り組むため下記のとおり会議を開催しました。

1. 機関会議の開催

(1) 評議員会の開催

第13回評議員会の開催

と き：2025年6月23日（月）14:00～

ところ：アスティとくしま 3階 第2特別会議室

出席：評議員総数15名中15名出席

理事総数19名中15名出席

監事総数3名中2名出席

議案審議

第1号議案 2024年度貸借対照表、損益計算書、
貸借対照表及び損益計算書付属明細、財産目録承認の件（2024年度事業報告並びに事業報告の付属明細含む）

第2号議案 基本財産の取崩承認の件

第3号議案 定款変更の件

第4号議案 任期満了に伴う評議員選任の件

第5号議案 任期満了に伴う役員選任の件

第6号議案 名誉理事長選任の件



第13回評議員会



第13回評議員会冒頭でハートフルゆめ基金助成式

(2) 理事会の開催

第47回理事会の開催

と き：2025年6月2日（月）15:00～

ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室

出席：理事総数19名中12名出席

監事総数3名中1名出席

議案審議

第1号議案 2024年度事業報告（案）承認の件

第2号議案 2024年度事業決算（案）及び監査報告承認の件

第3号議案 基本財産の取崩承認の件

第4号議案 第13回評議員会招集の件

第5号議案 任期満了に伴う評議員及び役員の選任の件

第6号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改定の件

第7号議案 参与の任命について

第8号議案 執行役員の任命について

第9号議案 定款変更の件



第47回理事会 理事長あいさつ



第49回理事会 労働福祉会館502号室にて

第48回理事会の開催

と き：2025年6月23日（月）15:30～
ところ：アスティとくしま3階 第2特別会議室
出 席：理事総数20名中17名出席
監事総数3名中3名出席

議案審議

- 第1号議案 理事長、副理事長、専務理事の選任
- 第2号議案 副理事長の職務代行順位について
- 第3号議案 常勤理事の報酬月額の高付けおよび退任理事長に係る退職慰労金・特別功労金の支給について



第50回理事会

第49回理事会の開催

と き：2025年9月16日（火）15:00～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
出 席：理事総数20名中15名出席
監事総数3名中3名出席

議案審議

- 第1号議案 2025年度上期事業進捗状況並びに下期重点課題の取り組み承認の件
- 第2号議案 2025年度補正予算承認の件
- 第3号議案 財団のガバナンス強化に向けた諸規程の整備について

第50回理事会の開催

と き：2026年3月18日（水）15:00～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
出 席：理事総数20名中16名出席
監事総数3名中2名出席

議案審議

- 第1号議案 2026年度事業方針（案）承認の件
- 第2号議案 2026年度事業予算（案）承認の件
- 第3号議案 第14回評議員会の開催に関する決議承認の件

と き：2025年4月8日（火）13:00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：2025年度の財団運営について
・評議員会へ向けた打ち合わせ

常勤理事会（5月）の開催

と き：2025年5月15日（木）10:00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：財団財政について
・評議員、役員改選について
・名誉理事長の機関会議への出席について
・くーぽん丸。の業務担当部署の変更について
・その他

と き：2025年5月27日（火）10:00～
※執行役員2名も出席
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：前回常勤理事会の会議内容の共有と確認
その他

と き：2025年5月30日（金）15:30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：理事会開催へ向けた最終確認
その他

2. 基幹会議の開催

（1）常勤理事会（理事長・専務理事・常務理事）

常勤理事会（4月）の開催

と き：2025年4月3日（木）11:00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：2025年度の財団運営について
・人事について

常勤理事会（6月）の開催

と き：2025年6月13日（金）13:00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：評議員会へ向けた確認事項
・評議員会後の機関会議について
（常務会の新設）
・その他

と き：2025年6月16日（月）16：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：理事長交代の挨拶回りなどの打ち合わせ
・その他

（2）常務会（理事長・専務理事・常務執行役員・名誉理事長）

常務会（7月）の開催

と き：2025年7月10日（木）13：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：基本財産の取り崩しについて
・財団30周年記念について
・新体制での当面の課題について（各部署）
・その他

常務会（8月）の開催

と き：2025年8月4日（月）10：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：常勤役員会での協議事項について
・その他

常務会（9月）の開催

と き：2025年9月9日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：マリッサとくしまの人事課題など
・その他

と き：2025年9月16日（火）13：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：モンゴル国訪問団の成果、知事市長要請
・その他

と き：2025年9月29日（月）15：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：会計処理チームの立ち上げについて
・その他

常務会（10月）の開催

と き：2025年10月14日（火）9：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：会計処理チームの立ち上げについてなど
・その他

と き：2025年10月23日（木）15：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：常勤役員会での協議事項について
・その他

常務会（11月）の開催

と き：2025年11月11日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：企画コンペ、知事市長要請、個人面談など
・その他

常務会（12月）の開催

と き：2025年12月9日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：知事市長要請、2026年度重点課題など
・その他

と き：2025年12月25日（木）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：人事、個人面談など
・その他

常務会（1月）の開催

と き：2026年1月13日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：人事、1～2月のイベントについて
・その他

常務会（2月）の開催

と き：2026年2月5日（木）9：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：人事、2026年度組織、予算方針など
・その他

と き：2026年2月10日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：2026年度組織、企画コンペ受賞作決定
・その他

常務会（3月）の開催

と き：2026年3月5日（木）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：人事、2026年度組織、予算方針など
・その他

と き：2026年3月10日（火）10：00～
 ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
 議 事：人事、組織体制など
 ・その他

と き：2026年3月19日（木）10：00～
 ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
 議 事：人事、組織体制など
 ・その他

と き：2026年3月27日（金）10：00～
 ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
 議 事：コンプライアンス委員会等、会議日程の検討、
 ・その他

（3）常勤役員会の開催

（常勤理事・常務執行役員・参与・参事・部長・名誉理事長）

第1回常勤役員会の開催

と き：2025年4月1日（火）10：00～
 ところ：財団小会議室
 議 事：各セクション進捗を共有
 ・2025年度の財団運営について
 ・監事監査～理事会～評議員会へ向けて
 ・学童保育をめざす会の立ち上げについて
 ・第3回コンプライアンス委員会について
 ・第1回スタッフ全員会議について
 ・新人研修について
 ・第4期賀川学校について
 ・第6次モンゴル国交流団について
 ・その他

第2回常勤役員会の開催

と き：2025年5月7日（水）10：00～
 ところ：財団会議室
 議 事：各セクション進捗を共有
 ・監事監査～理事会～評議員会に向けて
 ・学童保育の充実をめざす会について
 ・新人研修の受講生の確認
 ・第4期賀川学校について
 ・第6次モンゴル国交流団について
 ・とくしまピースネット80について
 ・あいあいファミサポフェスティバルについて
 ・その他

臨時常勤役員会の開催

と き：2025年5月29日（木）10：00～
 ところ：財団会議室
 議 事：新体制について
 ・その他

第3回常勤役員会の開催

と き：2025年6月3日（火）10：00～
 ところ：財団会議室
 議 事：各セクション進捗を共有
 ・評議員会に向けて
 ・7月の事業委員会について
 ※管理職向けハラスメント研修会
 ・8月度スタッフ全員会議（研修）について
 ・第6次モンゴル国交流団について
 ・第一種衛生管理者養成講座について
 ・その他

第4回常勤役員会の開催

と き：2025年7月1日（火）10：00～
 ところ：財団会議室
 議 事：各セクション進捗を共有
 ・新体制での確認事項
 ・夏季休暇について
 ・管理職向けハラスメント研修会について
 ・8月度スタッフ全員会議（研修）について
 ・その他

第5回常勤役員会の開催

と き：2025年8月5日（火）10：00～
 ところ：財団小会議室
 議 事：各セクション進捗を共有
 ・クラウドサーバー導入について
 ・ホームページの改修について
 ・くーぼん丸。の担当部署変更について
 ・第49回理事会開催へ向けて
 ・徳島県知事・徳島市長への要請について
 ・賀川豊彦ゆうあいフェスタ開催について
 ・その他

第6回常勤役員会の開催

と き：2025年9月2日（火）10：00～

ところ：財団小会議室

議 事：各セクション進捗を共有

- ・ガバナンス強化のための諸規程について
- ・第49回理事会開催に向けて
- ・年末の徳島県知事・徳島市長要請について
- ・その他

第7回常勤役員会の開催

と き：2025年10月7日（火）10：00～

ところ：財団大会議室

議 事：各セクション進捗を共有

- ・学童保育の充実をめざす会進捗
- ・マリッサとくしま「花火コン」
- ・賀川豊彦ゆうあいフェスタへの協力
- ・とくしまピースネット80への協力
- ・その他

第8回常勤役員会の開催

と き：2025年11月6日（木）13：30～

ところ：財団大会議室

議 事：各セクション進捗を共有

- ・休眠預金進捗
- ・会計処理サポートチームの立ち上げ
- ・企画コンペ
- ・職員面談について
- ・その他

第9回常勤役員会の開催

と き：2025年12月2日（火）10：00～

ところ：財団大会議室

議 事：各セクション進捗を共有

- ・職員面談について
- ・1月度スタッフ全員会議見送りの検討
- ・2026年度重点課題（案）の検討
- ・その他

第10回常勤役員会の開催

と き：2026年1月8日（木）10：00～

ところ：財団大会議室

議 事：各セクション進捗を共有

- ・第50回理事会の準備
- ・職員面談
- ・企画コンペ
- ・その他

第11回常勤役員会の開催

と き：2026年2月5日（木）10：30～

ところ：財団大会議室

議 事：各セクション進捗を共有

- ・第50回理事会開催に向けて
- ・企画コンペ結果共有
- ・あわ～ず徳島交流会について
- ・その他

第12回常勤役員会の開催

と き：2026年3月3日（火）10：00～

ところ：財団大会議室

議 事：各セクション進捗を共有

- ・予算案の検討
- ・第5期賀川豊彦学校への参画
- ・その他

（4）事業委員会の開催

（常勤役員・所長・室長・センター長・館長）

第1回事業委員会の開催

と き：2025年4月15日（火）10：30～

ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室

議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）

- ・2025年度の財団運営について
- ・第3回コンプライアンス委員会について
- ・その他

第2回事業委員会の開催

と き：2025年5月20日（火）10：30～

ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室

議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）

- ・評議員会へ向けた準備について
- ・学童保育について
- ・賀川学校へについて
- ・その他

第3回事業委員会の開催

と き：2025年6月17日（火）10：30～

ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室

議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）

- ・ピースビルダーパネル制作への協力
- ・8月度スタッフ全員会議について
- ・その他

第4回事業委員会の開催

と き：2025年7月15日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：NW 管理職対象ハラスメント研修
・ピースネット署名活動について
・その他

第5回事業委員会の開催

と き：2025年8月19日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・ピースネット署名活動について
・その他

第6回事業委員会の開催

と き：2025年9月16日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・その他

第7回事業委員会の開催

と き：2025年10月21日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・その他

第8回事業委員会の開催

と き：2025年11月18日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・その他

第9回事業委員会の開催

と き：2025年12月16日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・その他

第10回事業委員会の開催

と き：2026年1月20日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・その他

第11回事業委員会の開催

と き：2026年2月17日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・その他

第12回事業委員会の開催

と き：2026年3月17日（火）10：30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告（特徴的な課題について）
・その他

(5) スタッフ全員会議（全役職員）

4月度スタッフ全員会議（職員研修）

と き：2025年4月22日（火）10：00～
ところ：ろうきんホール
内 容：新入職員紹介
・財団「中期ビジョン2030」共有
・基調講演「県内自治体における2050年までの人口動態分析：年齢構成と地域維持の展望」



徳島経済研究所 研究員 兼子 知世 氏の基調講演



財団中期ビジョン2030の共有

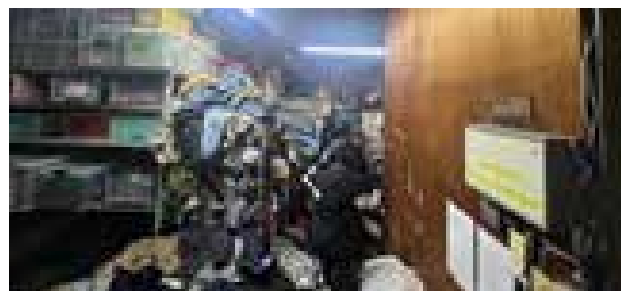
8月度スタッフ全員会議（職員研修）

フィールドワーク付きテーマ別研修会 テーマ1「共生社会へ」太陽と緑の会

と き：① 2025 年 11 月 4 日（火） 13:00 ～
② 2025 年 11 月 18 日（火） 13:00 ～

ところ：NPO 法人太陽と緑の会

内 容：ハンディのあるメンバーによるリユース
ショップの運営、次世代型ソーシャルアク
ションモデルを学ぶ。



2026.11.4 8月度スタッフ全員会議 太陽と緑の会

テーマ2「環境保護1」コウノトリ基金

と き：① 2025 年 11 月 5 日（水） 13:00 ～
② 2025 年 11 月 12 日（水） 13:00 ～

ところ：とくしまコウノトリ基金 大谷ベース

内 容：コウノトリの保護を通じた地域農業や地域経
済の活性化。様々な取り組みを講演とビオ
トープの観察で学ぶ。



2026.11.18 8月度スタッフ全員会議 太陽と緑の会

テーマ3「環境保護2」とくしま自然観察の会

と き：① 2025 年 9 月 11 日（木） 14:00 ～
② 2025 年 9 月 26 日（金） 14:00 ～

ところ：吉野川河口住吉干潟

内 容：「シオマネキ」は自然のパロメーター。吉野
川の自然の豊かさに触れ、シオマネキが生息
できる吉野川河口の環境について学ぶ。



2026.11.5 8月度スタッフ全員会議 とくしまコウノトリ基金

1月度スタッフ全員会議（研修と交流）

※今年度は、学童保育のシンポジウム、円卓フォー
ラム、あわ～ず徳島会員事業所交流会などが重なり、
開催を見送った。



2026.11.12 8月度スタッフ全員会議 とくしまコウノトリ基金

（6）衛生委員会（衛生委員）

基本毎月1回開催。各事業部の衛生管理に関する定
例報告、健康診断やストレスチェックの計画、実施
等について協議。

（7）編集委員会（編集委員）

不定期開催。あわ～ず会報、ネットワーク会報の編
集方針の決定、イベント、割引サービスの企画提案、
財団各事業の取材、原稿作成等。2025 年度より
秘書広報室・資料調査室が担当。



2026.9.11 8月度スタッフ全員会議 とくしま自然観察の会



2026.9.26 8月度スタッフ全員会議 とくしま自然観察の会

3. 財団のガバナンス強化推進

2022 年度より、ガバナンス強化推進を掲げ、総務セクションのさらなる強化を軸に、次の 10 年を見据えた持続可能な組織運営の体制づくりに取り組みました。

2023 年度には、理事会、評議員会での協議・承認を経て、執行役員の新任、業務管理・会計システムの見直し、**コンプライアンス委員会の設置、コンプライアンス相談窓口・内部通報制度相談窓口の開設、ガバナンス強化に伴う規程の見直し・新設**などに取り組みました。これらの取り組みにより、同年 10 月から新たな仕組みと体制がスタートしました。

2024 年度は、2023 年 10 月に施行された規程をベースに、常勤理事会、常勤役員会、コンプライアンス委員会での協議を重ね、**コンプライアンス・ハラスメントに関する相談窓口の開設、周知、広報・啓発**に取り組みました。さらに、**2024 年度末、今後のさらなる拡大を見据えた 5 年後の「あるべき姿」**を展望し、ガバナンス強化を基盤とした「**NW 中期ビジョン 2030**」を策定しました。

そして、2025 年度は、この「NW 中期ビジョン 2030」をベースに、それぞれ事業推進に取り組みました。

(1) 第3回コンプライアンス委員会の開催

本委員会では、篠原健委員長（弁護士）を講師に「最新のコンプライアンス事情」と題した勉強会を実施しました。兵庫県知事問題やフジテレビの第三者委員会報告書を具体例に、ハラスメントやガバナンス欠如が組織に及ぼすリスクについて深く研鑽を積みました。

協議事項では、2024 年 10 月に開設した相談窓口の運用状況を確認したほか、コンプライアンス推進室の立ち上げなどが協議されました。

と き：2025 年 4 月 14 日（月）15：00

ところ：勤労者福祉ネットワーク大会議室

出席者：委員 6 名 財団から 3 名

(2) 情報公開体制強化に関する報告（ホームページの改修など）

公益財団法人における情報公開の重要性の高まりを踏まえ、2025 年 9 月の理事会での 2025 年 12 月、**ホームページを改修**しました。これまで決算情報中心であった公開内容を見直し、コンプライアンス・ガバナンスに関する各種規程、事業計画・収支予算、事業報告および決算情報等を体系的に公開する体制を整備しました。

また、2026 年 3 月理事会以降は、**役員（理事・幹事）・職員の「兼職に関する申請」を定期的（役員は理事会案内の際確認、職員は新規採用時労働条件通知書配布の際確認）に実施すること**としました。

本対応は、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」および内閣府ガイドラインに基づく透明性確保と説明責任の充実に対応し、事業運営の適正性と財務状況の開示によるガバナンス強化を図るものです。

3. “これからの10年”を見据えた人材育成

(1) 財団事業企画コンペの実施

2025 年も、「徳島の地域社会の未来ーネットワーク事業の可能性ー」と題し 2026 年に実施し、2 月に受賞作を決定しました。表彰を行いました。今回は、最優秀賞×1、優秀賞×2、特別賞をそれぞれ選びました。企画案の実現に向け懸命に努力しています。

受賞企画

最優秀賞…財団キャラのくーぽん丸。LINE スタンプ制作企画

優秀賞……くーぽん丸。Vtuber 化計画?! 本誌掲載店を動画で紹介!

優秀賞……賀川豊彦物語の(幼児向け絵本)の制作など

特別賞……ネットワーク職員へ向けた「福利厚生ハンドブック」の作成

(2) 財団職員全員の防災士資格取得への挑戦

多数の死傷者が予想されている南海トラフ大地震、徳島県では 30 年以内に発生する確率は 70～80%。財団では、家庭、職場での発災時に「一人でも多くの命を救いたい」とし全職員が防災士の資格を取得することを宣言し、実現に向け取り組んでいます。2025 年度も、徳島県地域防災推進要請研修(短期講座)を活用し防災士取得に取り組み、10 名が受講しの 9 名の防災士が誕生しました。

(3) 新人研修の実施

毎年実施している、新人研修について、毎年 4 月～5 月頃鳴門市賀川豊彦記念館等で実施しています。2025 年度は 5 月 12 日に実施し、昨年受講できなかった新入職員も加え 7 名が受講しました。

第 1 部 「徳島県勤労者福祉ネットワークの原点賀川豊彦の基礎知識」(賀川記念館)

第 2 部 「徳島における労働者福祉の歴史と現状」(財団会議室)



賀川豊彦記念館 2 階展示室での研修



賀川豊彦記念館 1 階 展示室での研修

(4) スタッフ全員会議の実施

財団では、4 月・8 月・1 月の年 3 回、財団役職員全員が参加できる「スタッフ全員会議」を開催しています。

4 月度の全員会議は、～すべてはその笑顔のために～と題し、公益財団法人徳島経済研究所 研究員 兼子 知世 氏の基調講演「県内自治体における 2050 年までの人口動態分析：年齢構成と地域維持の展望」で学び、2025 年 3 月に答申された「NW 中期ビジョン 2030」を共有しました。

8 月度の全員会議では、昨年スタートした「フィールドワーク付きテーマ別研修会」を実施しました。3つのテーマを2/3のスタッフが受講できました。【報告・写真 P10】

1 月の全員会議について、2025 年度は見送ることとしました。

(5) 賀川豊彦学校への参画

今年度も認定 NPO 法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会（理事長：久積育郎）による「賀川豊彦学校」（第 4 期）が実施されました。財団も企画段階から協力ししています。今期、財団からは 13 名の職員が登録し 10 名が修了しました。

4. 多文化共生社会へ向けて

日本は急速な少子高齢化による人口減少社会に転じています。このような中であって、当財団は多民族、多文化が共生する社会の実現へ向けて「まずは、外国出身の人たちとの交流の場づくりから始めよう。」とユニバーサルカフェ「つながり」を発足させました。

徳島にも多くの海外出身者が生活していますが、言語や文化、子育てなどさまざまな課題を抱えています。多様な人たちが、まずはお互いを知り、理解し、そしてつながることから全てが始まると考え、毎月の取り組みに活かしています。

ユニバーサル・カフェ「つながり」の取り組みの取り組みも、2026 年で丸 5 年が経過しました。この間、ものづくりや交流会、写真集の発刊など、試行錯誤を重ね、一定の経験とノウハウを蓄積することができました。

2023 年には「つながり文化交流室」を立ち上げ、「つながり」事業の豊富化を見据えた組織体制へと移行し、2025 年度は交流会を中心に取り組みました。【2025 年度報告は 58 ページ】

5. 第 6 次モンゴル国交流訪問団

これまでの経緯

私たちは、東アジアの平和と国際貢献、モンゴル国との友好交流を目的とし、2018 年 6 月、第 1 次モンゴル交流訪問団がモンゴル国ゾリグ財団を訪れました。2019 年 3 月～5 月、財団でゾリグ財団からの研修生ナランズルさんを 2 ヶ月間受け入れ、友好交流協定の中身について協議を行いました。2019 年 7 月には第 2 次訪問団がゾリグ財団を訪れ、当財団とゾリグ財団との間で友好交流協定が締結されました。2020 年からコロナ禍のため、具体的な交流は見送られましたが、行動制限が緩和された 2022 年 8 月、第 3 次モンゴル交流訪問団がゾリグ財団を訪れ、新たな交流をスタートさせることを約束しました。2023 年 9 月には、第 4 次交流訪問団がモンゴルを訪れ、お互いの財団の事務局員が相互交流を行うことを確認し、まずはモンゴルから徳島へということで、2023 年 10 月 18 日～11 月 4 日の間、研修生アミナさんを受け入れましたが、2024 年 1 月、アミナさんがゾリグ財団を退職したことにより、相互交流は一旦白紙としました。2024 年 6 月、第 5 次モンゴル国訪問団を結成し、モンゴル国を訪れ、スタッフ交流や、財政支援などいくつか提案しましたが、具体化には至りませんでした。

そして、2025 年 7 月、**第 6 次モンゴル国訪問団**がモンゴル国を訪れ、第 5 次訪問の際提案した事業のひとつ、労福協が行う事業（兼松理事が担当）「**外国人のためのオンライン日本語セミナー**」の具体化等を提案、具体化へ向けた協議をオンラインで開始することを約束しました。

訪問期間：2025 年 7 月 12 日（土）～7 月 16 日（水）

参加人数：財団から参加 4 名（理事 1 名・職員 3 名）

6. 「平和なくして福祉なし」…平和への取り組み

2022 年 2 月、ロシアによるウクライナ侵攻と時を同じくして、当財団を含む県内の 11 団体とともに「**ヒロシマ被爆アオギリⅡ世平和祈念植樹写真展徳島実行委員会**」を立ち上げ、写真集の企画、編集、出版、配布などを通じて「平和をテーマ」にした活動に取り組み、一定の成果をあげました。2023 年末、実行委員会は一定の役割を終えたとし、「**ヒロシマ被爆アオギリⅡ世平和祈念植樹徳島連絡会**」に改組（事務局は当財団）し活動を続けています。

2025 年 3 月、平和をめざす**団体・個人で構成された「とくしまピースネット 80」**の呼びかけ団体のひとつとして当財団も名前を連ね、**7 月 4 日の「徳島県平和の日」条例制定、「徳島大空襲資料館（仮称）の整備」などの実現**に向け取り組みました。



2025.5.13 ヒロシマ被爆アオギリⅡ世平和祈念植樹徳島連絡会



2025.5.31「徳島県平和の日」条例制定を求めるキックオフ集会



2025.6.14 あい♥あいフェスティバル（ピースビルダー）



2025.07.04 徳島大空襲を語る集い



2025.9.10 ピースネット 80 署名を徳島県議会議長に提出



2026.2.21 とくしまピースネット 80 第 2 回総会 & 記念企画

7. 中期ビジョン2030の進捗

2013年、私たちは、財団設立から15年を迎え公益法人改革の節目に、次の10年へ向けた「中期ビジョン」を策定し、そのビジョンに沿って様々な事業に取り組みました。この間、関係する行政、労働者福祉団体、経営者団体をはじめ、多くの関係団体のご協力、ご尽力により、そして、なによりも役職員の努力により、順調に拡大してきました。当時30名の職員は、現在では130名を数えるまでに急成長し、中期ビジョンで示した様々な目標は、概ね達成しつつあります。

しかし、目標とした10年が過ぎ、加速する時代の変化、急速な人口減少とパラダイムシフトに、次の時代へ向けた、私たちのビジョン、道標が求められています。

「中期ビジョン2030」は、私たちが、「いつでも、どこでも、だれでも」が利用可能な総合福祉サービスをめざし、**地域社会に貢献する公益財団法人として、2030年に「あるべき姿」をあらためて示すもの**です。

私たちは、公労使三者構成であることの最大の強みを活かし、調査（ニーズの把握）・企画（発案～共有～協議～決定）・実行という一連のプロセスを通じて具現化する基本姿勢を確認し、賀川豊彦の「友愛・互助・平和」の精神を受け継ぎ、財団の基本理念である「人間の尊厳を第一に、働く者の連帯で『共助・共生の福祉社会』」の実現をめざします。（中期ビジョン2030「はじめに」より）

（1）2025年度の実績 KPI（Key Performance Indicator）

「中期ビジョン2030」11ページ「Ⅳ. 具体的な実施計画」に沿って2025年度に取り組んだことを整理します。

組織基盤～ガバナンス強化拡充へ向けて～

- ① 「中期ビジョン2030」の共有と実践 → **4月度スタッフ全員会議で全職員に共有** **達成!**
→ **毎年新人研修で新入職員へ（5月）**

- ② 執行役員体制の強化 → **2025年6月、常務執行役員2名の任命と常務会の設置** **達成!**

- ③ 評議員、役員（理事・監事）のさらなる拡充と女性割合50%をめざす。

女性の割合：評議員 37.5% → **40.0%** **未達成**

役員 32.0% → **39.1%** **未達成**

常勤役員 60.0% → **67.0%** **達成!**

全役員 84.0% → **85.1%** **達成!**

（2026年3月末 97人/114人）

- ④ 財団基盤の拡充へ向けた会員制度の見直し

会員（賛助会員、事業会員）の拡大と相互交流の強化

→ 財団運営への参加意識の向上と、参加メリットを享受できる仕組み作り

→ **未達成（検討中）** **未達成**

→ ネットワーク会員交流会の実施（会員間の交流と有機的な繋がりを目的）

→ **2026年度評議員会（6/23）後、交流会を実施予定** **達成!**

- ⑤ 事業拡大に伴う拠点の拡充

西部事務所、南部事務所の設置と財団事務所の新設の検討

→ **未達成（検討中）** **未達成**

⑥ 広報並びに資料・調査・研究体制の強化

情報管理の一元化、広報活動の効率化、計画的かつ戦略的な広報、トップマネジメントの支援などを行う、「秘書広報室（仮）」並びに、意思決定のために必要な資料作成やデータの整理、調査・研究を行う「資料調査室（仮）」を設置しガバナンス強化につなげる。

→ガバナンス強化のための3つの室を設置 **達成!**

・秘書広報室 ・資料調査室 ・コンプライアンス推進室

2025年6月2日開催の第47回理事会で設置を報告

⑦ 職員のモチベーションアップのため改革

働き方改革と賃金の見直しが必要。総賃金を増やすことができるよう新たな自主事業の開発・開拓をめざす。

→「学童保育の充実をめざす会」の立ち上げ～新町学童の受託 **達成!**

→2026年度はさらなる拡大へ向けた調査事業の受託をめざす **着手**

⑧ 総務部門の拡充で組織基盤を強化

1) 規程・規則の整備…各助成金等の申請に対応できるように整備する。

→未達成（検討中） **未達成**

2) 書類管理のペーパーレス化…電子帳簿保存法に対応、提案書・共有資料をクラウド化し、効率化と経費の削減を行う。

→2026年3月クラウドシステムを導入し、クラウド化に向け学習中 **着手**

3) 経費管理・勤怠管理等の効率化…職員の増大化に対応するシステムを構築する。

→未達成（検討中） **未達成**

4) 経費の見直し…現行利用のカード類・パソコン・リース契約等を見直し経費の削減につなげる。

→2025年度、主な既存のリース契約の相見積もりを実施し経費節減につとめた **達成!**

5) コンプライアンス委員会の充実とハラスメント・コンプライアンス相談窓口の拡充（内部通報、公益通報の有効な活用）で、ガバナンス強化につなげる。

→2025年度、「コンプライアンス推進室」の設置で実務部門の拡充につなげた **達成!**

6) メンタルヘルス対策…育児休業後、介護休業、メンタルヘルス対応など働きやすい職場環境を整える。

→未達成（検討中） **未達成**

⑨ 事業部間の連携強化のために各級会議をブラッシュアップ →未達成（検討中） **未達成**

- ・常勤役員会
- ・事業委員会
- ・他部署の委員会、会議などへの出席

達成! 達成…2025年に達成しました。

着手 着手…2025年に着手しました。

未達成 未達成…未着手・未達成です。2030年を目標に順次取り組みます。

あわ～ず徳島（徳島勤労者福祉サービスセンター）

2023年5月に実質的にコロナ禍が収束し、概ね通常運営へと移行しました。一方で、コロナ禍を契機とした価値観やライフスタイルの変化に加え、**中小企業を取り巻く環境は依然として厳しく**、燃料費・原材料費の高騰、最低賃金の引き上げによる人件費増、インボイス制度等の影響が継続しています。さらに、年度後半には**国際情勢の緊張（米国・イラン情勢）に伴う燃料価格の上昇**なども重なり、企業経営への負担は一層増大しました。

このような状況下において、「福利厚生」は見直し対象となりやすく、**退会の増加傾向**が続いています。会員数はここ数年伸び悩んでおり、「**2026年度末2万人**」の目標は「**2030年達成**」へと見直しました。

1. 加入事業所・会員数の増加に向けて

2025年度は、1,119事業所・15,795人でスタートしました。中小企業の経営環境は厳しく、加入促進は容易ではありません。そのため、**加入促進部門では業種別のテーマ型営業**やDX活用による支援効率化を進め、**企画管理部門では、サービスのアプリ化をはじめ、デジタル手続きへの対応と新規事業の開発**に取り組みました。

また、**企画・営業・PR・サポートが一体となる体制**へと見直し、4月より新体制で運営を開始しました。人的配置についても柔軟に調整を行いながら、**組織全体で加入促進と満足度向上**に取り組んでいます。

【事業所数・会員数】2025年度

2025年度		4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末
事業所数	入会	5	2	7	3	4	6
	退会	4	13	5	6	3	7
	増減	1	▲11	2	▲3	1	▲1
	合計	1,120	1,109	1,111	1,108	1,109	1,108
会員数	入会	529	181	238	146	161	156
	退会	170	191	142	368	106	209
	増減	359	▲10	96	▲222	55	▲53
	合計	16,154	16,144	16,240	16,018	16,073	16,020

2025年度		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	合計
事業所数	入会	3	4	6	5	3	1	49
	退会	1	7	3	4	5	18	76
	増減	2	▲3	3	1	▲2	▲17	▲27
	合計	1,110	1,107	1,110	1,111	1,109	1,092	
会員数	入会	235	229	111	130	105	120	2,341
	退会	90	104	119	140	137	595	2,371
	増減	145	125	▲8	▲10	▲32	▲475	▲30
	合計	16,165	16,290	16,282	16,272	16,240	15,765	

2. 県内市町村長からのご挨拶会報掲載の取り組み

会報誌 4・5月号	徳島市	遠藤 彰良	市長
会報誌 6・7月号	佐那河内村	岩城 福治	村長
	牟岐町	枅富 治	町長
会報誌 8・9月号	上勝町	花本 靖	町長
	つるぎ町	兼西 茂	町長
会報誌 10・11月号	小松島市	中山 俊雄	市長
	三好市	高井 美穂	市長
会報誌 12・1月号	美波町	影治 信良	町長
会報誌 2・3月号	美馬市	加美 一成	市長
	上板町	松田 卓男	町長



少しでも首長のあいさつで、それぞれの市町村のPRができる**新しいスタイル**となりました。

3. 徳島勤労者福祉サービスセンター自立化対策会議

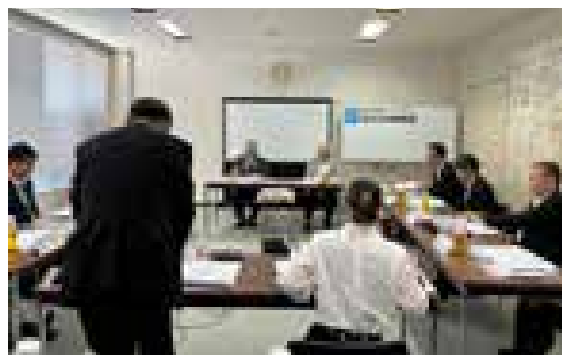
(1) 第5回徳島勤労者福祉サービスセンター自立化対策会議

と き：2025年5月8日（木）10:30～12:00

ところ：当財団大会議室

出席者：委員7名 / アドバイザー1名 / オブザーバー1名 / 財団6名

会議冒頭、久積理事長より、会員数が足踏み状態であること、広報を強化したこと、新たな取り組みとして、ライフエンディングサポートセミナー、ゲーム大会を開催したこと、2026年度末での会員2万人達成目標の期間の下方修正を余儀なくされたこと等を述べ会議がスタートしました。事務局からは①この間の経過報告、②完全自立化に向けた新たな目標、具体的な課題など、会員サービスの充実や地域活性化に向けた取り組みの提案等を報告しました。意見交換では、①公労使委員それぞれの立場から、徳島市以外の年度任用職員の加入、②スマホアプリ化による経費の節減、③外国人労働者の特定技能試験のサポートサービスの創設、④大企業と中小企業の福利厚生格差の見える化、⑤人口減少下での会員拡大は困難、利用者が少ない事業の見直しなど、拡大ばかりではない対応も検討すべきなどのご意見をいただきました。公労使の協力で2030年での目標達成（自立化の2万人）をめざすことを共有して閉会しました。



事務局から報告



久積理事長とアドバイザーの中村昌宏先生

(2) 第6回徳島勤労者福祉サービスセンター自立化対策会議

と き：2025年11月20日（木）14:00～15:30

ところ：当財団大会議室

出席者：委員5名 / アドバイザー1名 / 財団8名

第6回自立化対策会議では、これまでの経緯や直近の取組、第3回市町村連絡会の内容を報告するとともに、コロナ後の変化や物価高を踏まえた**大規模アンケート実施**の案を協議しました。また、**会員事業所自治体交流会の開催**やサービスのスマホアプリ化、セミナーの実施など今後の取組を共有し、意見交換を行いました。会員拡大での自立化に向けた方向性を確認した有意義な会議となりました。



事務局から報告



石堂理事長による冒頭挨拶

4. 「第3回徳島勤労者福祉サービスセンター市町村連絡会」開催

と き：2025年9月4日（木）13:30～15:00

ところ：労働福祉会館5階 502会議室

出席者：県から1名 / 16市町村の各担当者（16名） / 財団より理事長他9名

第3回市町村連絡会では、「**あわ～ず徳島アップデート基本構想**」の**中間報告**を基に、コロナ禍後のあわ～ず徳島の取り組み、市町村の取り組みを共有し、あわ～ず徳島の拡大を軸とした**地域活性化に向けた意見交換**がなされました。

また、地域活性化への取り組みと**会員2万人での完全自立化**へ向け、行政による支援と、さらなる連携強化について確認しました。



2025.09.04 第3回市町村連絡会



あわ～ず徳島の歴史を動画で

5. 「地域活性化」へ向けた取り組み

とくしまのちょっとええもんつたえ隊 ～地元のお宝大発見～

24 市町村、観光協会等と連携し、地元とくしまの魅力をあらためて共有することで、地域活性化につなげてまいります。

会報誌 4・5 月号・・・小松島市・美馬市・JA 東とくしま

会報誌 6・7 月号・・・鳴門市・神山町

会報誌 8・9 月号・・・石井町・藍住町

会報誌 10・11 月号・・・上板町・吉野川市

会報誌 12・1 月号・・・牟岐町・北島町

会報誌 2・3 月号・・・佐那河内村



6. イベントの企画・開催

(1) 地引網体験と海岸クリーンアップで 楽しく！美味しく！美しく！

と き：7月6日（日）10:00～13:00

ところ：中林漁港（阿南市中林町蛭子浜 1）

猛暑の中、今年も参加者全員が海岸清掃に取組んだ後、船 4 艘 2 網での地引網体験を行いました。捕れた魚は中林漁港女性部により調理され、参加者で美味しくいただきました。「七夕まつり」にちなんで、子どもたちはそれぞれの願いを短冊に書き、会場は笑顔であふれました。



子どもたちは短冊に願いを込めました

(2) 第 25 回事業所対抗ソフトバレーボール大会（NW 会員・あわ～ず会員）

と き：9月23日（火）9:00～12:00

【秋分の日】

ところ：松茂町総合体育館

（松茂町中喜来群恵 225-3）



中小企業サポート部

NETWORK 総務部

全 24 チーム・160 名超が参加し、うち 10 チームが初出場。リーグ戦を経て 6 チームが決勝トーナメントへ進出し、安定したプレーと高い団結力を発揮したチームが優勝しました。会場は終始活気と笑顔に包まれ、交流促進にもつながる大会となり、次回開催への期待も高まりました。



24 チーム、160 名の参加選手たち

7. 各種研修・セミナーの開催

新入職員ビジネスマナー研修 in 阿南

と き：4月17日（木）13:30～15:30

ところ：阿南ひまわり会館

講 師：福永 由里子 氏

新入職員ビジネスマナー研修 in 徳島

と き：4月24日（木）13:30～15:30

ところ：アスティとくしま1階

講 師：福永 由里子 氏



写真は阿南会場での研修

今年は阿南と徳島2会場で開催し、会員事業所の新入職員 34 名が参加しました。

研修では、言葉遣いや電話対応などの基本的なビジネスマナーに加え、**色彩心理を活用した、業務効率の向上や、状況に応じたメンタルの整え方**など、日々の業務に楽しく活かせる内容を学びました。特に、「こんな場面ではこの色を取り入れるとこうした効果が期待できる」といった具体的な活用法を、色布を使った実演を交えてご紹介いただき、参加者の皆さんも興味深く耳を傾けていました。

参加者からは「とても勉強になった」「色彩の重要性がよく分かった」といった感想が寄せられ、実りある研修となりました。

ライフエンディングサポートセミナー（終活セミナー）の開催

と き：3月5日（木）14:00～15:30

ところ：アスティとくしま

講 師：岡 正伸 氏(NPO 法人 ALIVELAB 理事長)

あわ～ず徳島では、「エンディングノートがひらく『人生後半戦』～“今”を整える前向き終活～」をテーマにセミナーを開催しました。講師に NPO 法人 ALIVELAB 理事長の岡正伸氏を迎え、終活を「これからをよりよく生きるための整理」として捉え、**エンディングノートの活用方法**や、家族との関係性の大切さについて解説いただきました。

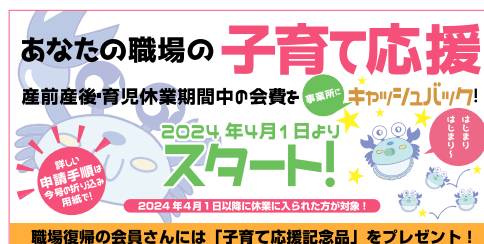


岡正伸氏 自己紹介

少子高齢化や核家族化、未婚者の増加により、60代以降で「家族に迷惑をかけたくない」「自分らしい最期を迎えたい」と考える方が増えています。一方で、葬儀・埋葬・相続・保険などは知っているつもりでも不明点が多く、備えや相談先に不安を感じる方も少なくありません。このセミナーは、こうした課題に応えるために昨年度スタートした新たなセミナーです。

8. 産前産後・育児休業期間中の会費を全額 キャッシュバック（補助）

産前産後・育児休業期間中の会費を全額キャッシュバック（補助）することで、退会することなく、休業期間中もあわ～ず徳島のサービスを受けられると、経営者にも従業員にもメリットが大きい制度を昨年4月からスタートしました。昨年一年間の申請は143件。今年度は、104件の申請を受け付けました。



9. あわ～ず徳島デジタル化の取り組み

全会員が平等にサービスを受けられるよう配慮しながら、時代の流れに遅れないよう、一歩ずつサービスのデジタル化を進めています。

・あわ～ず徳島ホームページからの電子申請

会員事業所の経営者や従業員、福利厚生に興味を持った会員ではない方など、さまざまな立場の方が必要な情報に最短で到達できることをメインテーマにリニューアルしたホームページですが、申請もできるだけデジタルで行えるよう、利便性向上に務めています。



あわ～ず会報 8・9月号

・あわ～ず徳島サービスのアプリ化

2024年10月、日本総研の取材をきっかけに、専門家との勉強会をスタート。通算13回にわたる勉強会で、具体化され、「第5回自立化対策会議」で協議、第47回理事会・第13回評議員会で共有され、**2026年4月のリリースが実現**しました。

4月1日リリース後、現在 **(4月20日)** までに**0000**ダウンロードを達成しています。



アプリ化のきっかけとなった「日本総研」のhp記事



「日本総研」の記事は、
こちらからお読みいただけます。



スマホアプリ画面（画面は開発中のものです）

10. 自然保護団体との連携

2023年度より、「とくしま自然観察の会」と連携し、あわっき（マスコットキャラ）のモデル、「シオマネキ」の保護活動に協力しています。昨年に引き続き財団の「スタッフ全員会議」で研修を通じて役職員の意識向上に取り組むとともに、今年度は新たに「夏休み企画 青ガニ探検隊！」と題し、子どもたちの学びにつながる企画をスタートしました。

2026年度は、**ラムサール条約湿地認定へ向けた活動への協力**を行うとし、2026年度最重点目標の一つとして位置付けました。



あわ～ず会報 8・9月号

と き：8月27日（水）13:00～15:00

ところ：吉野川河口住吉干潟

講 師：とくしま自然観察の会 代表 井口 利枝子氏



2025.08.27「青ガニ探検隊」吉野川河口干潟で実施



画面中央黄色いTシャツの方が井口代表

11. 特別サポート企画「行(1)こう(5)よ(4)韓国！ 徳島からひとつ飛び！あわ～ず徳島が全力応援！」

徳島阿波おどり空港発着の韓国仁川空港直行便を利用する会員を対象に、1人1万円の補助金制度を導入しました。先着154名。あわ～ず徳島HPの特設ページ専用フォームから申請を行い、帰国後、登録の会員メールアドレスに1万円分のQUOカードPayを贈ります。対象期間は2025年6月1日出発便～12月31日まで（定員到達次第終了）。会員サービス向上と併せ、徳島空港利用促進や韓国との交流活発化を後押しし、新規会員獲得や既存会員満足度向上にもつながることをめざしました。発着時刻の不便さなどもあり、予定数には達しませんでした。利用申出92件、事後申出77件、最終贈呈数67名の利用がありました。



12. 第10回会員事業所・自治体交流会の開催～会員16,000人突破！感謝と交流の集い～

と き：2026年2月8日（水）13:00～15:00

ところ：徳島グランヴィリオホテル

2026年2月8日、徳島グランヴィリオホテルにて第10回会員事業所・自治体交流会を開催し、200名を超える会員、関係の皆様に参加を得て盛況に実施しました。第1部では功労表彰等に加え、4月リリース予定の**会員向けアプリのデモンストレーションを実施**し、操作画面を交えた説明に大きな関心が寄せられました。第2部では**徳島県立鳴門高等学校阿波踊り部**による阿波踊りの迫力ある演舞が会場を大いに盛り上げ、交流やPR、大抽選会を通じて親睦を深めました。新たな取組への期待と交流の輪が広がる有意義な機会となりました。



スマホアプリのデモンストレーション



徳島県立鳴門高等学校阿波踊り部による阿波踊り

13. 2025 年度徳島県職員連合労働組合福利厚生充実事業

(1) バスツアー実施報告

- ① 2025 年 11 月 22 日 (土)
京都タワー見学と自由散策ツアー バス 3 台 参加者 106 名
- ② 2026 年 3 月 28 日 (土)
京都タワー見学と自由散策ツアー バス 3 台 参加者 90 名

(2) 旅行代理店提携ツアー

- ① 大阪・関西万博 参加者 27 名
- ② 韓国・ソウル 3 日間 参加者 2 名
- ③ 有馬温泉 参加者 3 名



14. 中小企業退職金共済制度・小規模企業共済制度の普及・推進活動

(1) 中小企業退職金共済制度

2025 年度も委託団体として、普及・推進に努め、上期の新規契約 2 事業所、3 名、追加契約 3 事業所 7 名となっています。

(2) 小規模企業共済制度

2025 年度も委託団体として、普及・推進に努めました。

Ⅱ. 子育てサポート部



「こどもまんなか社会」の理念が地域に深く根付くなか、私たちは今、支援の「提供」から、子どもたちの「主体性」を育む新たなステージへと歩みを進めてきました。子育てサポート部は、これまでに築き上げた強固な地域連携を礎に、子どもたち一人ひとりの「声」を施策に反映させ、誰もが自分らしく輝ける社会の構築を牽引してまいります。

2025年度は「体験」と「居場所」の充実を最優先事項とし、基盤整備に注力いたしました。特筆すべき成果として、2026年4月より放課後児童クラブ（学童保育）の運営を開始いたしました。これにより、地域における安心・安全な居場所づくりの大きな一歩を標榜することができました。

2026年度は、新たに開設した学童保育を拠点とした「居場所の質の向上」を軸に、未達成課題である赤ちゃん授業の広域展開に向けた「質の深化と個別最適化」を積み上げ、「すべての子どもの笑顔のために」という指針をより高い次元で体現してまいります。

1. ファミリー・サポート・センター事業



ファミリー・サポート・センター（ファミサポ）は、提供会員と依頼会員の相互援助活動が基本であり、「地域で子どもを育てる」という理念を具現化する『こどもまんなか』の重要な役割を担っていると考えています。

徳島県では、2015年に県内全域でファミサポが設置され、ファミリー・サポートが広く展開されてきました。しかし、**実働できる提供会員数は多くなく**、長時間の預かりやきょうだい複数預かり、支援を必要とする子どもさんへのサポートなど**依頼内容が多様化**してきました。ファミサポアドバイザーの丁寧な打ち合わせと提供会員のスキルアップを図り、できるだけ柔軟に対応できるよう実施していきます。

また、日々のマッチング業務、親子交流イベント、相談会、会員研修会の開催など、丁寧な運営を心がけてまいります。

- 徳島ファミリー・サポート・センター
（徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・石井町・神山町・佐那河内村）
- 板野東部ファミリー・サポート・センター
（藍住町・北島町・松茂町・板野町・上板町）
- 阿南ファミリー・サポート・センター（阿南市）
- 鳴門ファミリー・サポート・センター（鳴門市）
- 美馬ファミリー・サポート・センター（美馬市・つるぎ町）
- 阿波市ファミリー・サポート・センター（阿波市）
- かいようファミリー・サポート・センター（海陽町）
- 吉野川市ファミリー・サポート・センター（吉野川市）



● 徳島ファミリー・サポート・センター

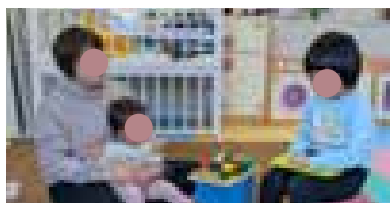
(徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・石井町・神山町・佐那河内村)

利用補助制度の開始に伴い、サポート件数および新規マッチング依頼は増加傾向にあり、**制度へのニーズの高まりを再確認**する一年となりました。

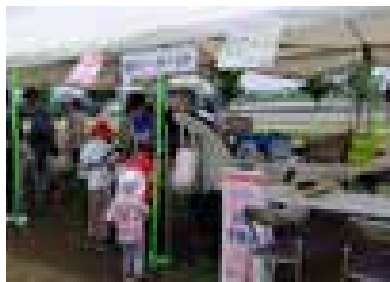
一方で、依頼数に対して**活動可能な提供会員が不足**しており、対象エリアの拡大やマッチング条件の緩和など柔軟な対応に努めてまいりましたが、依然としてすべての依頼に応じきれない状況が続いております。**供給体制の整備は喫緊の課題**として浮き彫りとなりました。

また、事務局運営においては、**増加する業務量への対応と持続可能な運営体制の構築**を目的として、「ファミサポクラウド」を導入いたしました。これにより、アナログ管理からデジタル管理への移行を開始し、事務効率化に向けた基盤を整えることができました。

今後は、この喫緊の課題を解決するため、新規提供会員の獲得および休止会員の掘り起こしを最優先事項として取り組んでまいります。あわせて、「ファミサポクラウド」の活用について**会員への周知を徹底**し、スムーズな利用につながるようフォローアップに注力してまいります。



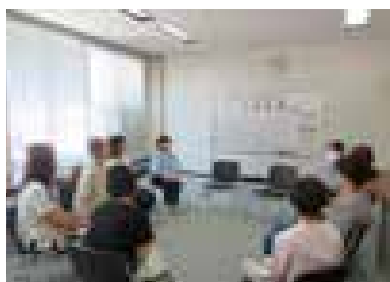
普段のサポート風景



20250518 石井フェスタ



20250717 夏まつり



20250729 茶話会



20251213 徳島 fsc クリスマス会



20251216 徳島 fsc 出張登録会



20260115 徳島 fsc
E 会員研修・交流会



20260216 徳島 fsc 茶話会



20260226 徳島 fsc 子育て相談

● 板野東部ファミリー・サポート・センター

(藍住町・北島町・松茂町・板野町・上板町)

1 月には、藍住町の保育所が主催する地域フェスティバルに参加し、広報活動を実施いたしました。その際に入会された会員から、その後実際に活動依頼につながる事例もあり、地域に出向き、子育て中の保護者と直接顔を合わせながら広報活動を行うことの重要性を改めて実感いたしました。同フェスティバルは 2026 年度も 11 月に開催予定であることから、配布用プレゼントの制作なども行いながら、ファミリー・サポート・センターをより身近に感じていただけるよう、継続して**広報活動に取り組んで**まいります。

また、1 月には、提供会員および病児・病後児預かりに対応可能な E 会員を対象とした「ほっとサポーターズカフェ」を開催いたしました。防災士の講師を招き、「サポート中に災害が発生した場合」をテーマに意見交換を行い、日頃からサポートに関係する場所の安全確認や移動ルート上の危険箇所を意識しておくことの重要性について学びました。あわせて、ヒヤリハット事例についても参加者同士で再確認を行い、**安全なサポート実施に向けた共通認識を深める機会**となりました。

今後も、安全なサポートの実施に向け、会員同士での意識共有を図ってまいります。また、2026 年度は、室内で子どもと遊ぶスキルを学ぶ機会を設けるとともに、**新たな受講者の獲得**にも取り組んでまいります。



20250528 松茂ためきケーキ作り



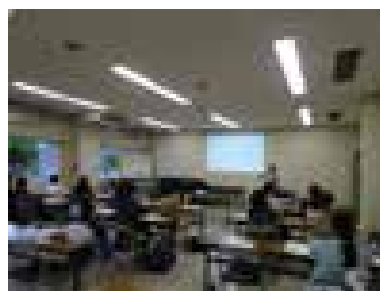
20250602 板野東部 FSC
よっとい Day!! ズンバ



20250724 板野東部 FSC 研修
消防署見学



20250911 板野東部 FSC
会員講習会



20250925 板野東部 FSC
会員講習会



20250926 板野東部 FSC
会員講習会



20251122 板野東部 FSC
芋ほり交流会



20251220 板野東部 FSC
クリスマス交流会



20260226 板野東部 FSC
子育て相談会

● 阿南ファミリー・サポート・センター

昨年度導入された「**利用補助制度**」の定着により、サポート依頼に関する問い合わせ件数は**着実に増加**しており、ファミリー・サポート事業の**社会的役割は一層高ま**っています。

また、地域リーダー主導による「**ウエルカム阿南交流会**」等の取組を通じ、転入した在宅育児世帯の孤立防止に資するコミュニティ形成についても、一定の成果が得られました。

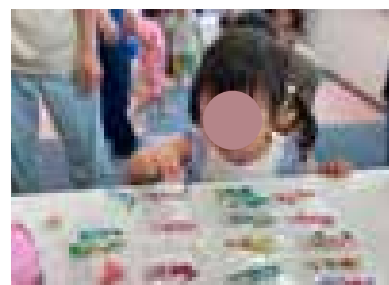
2026年度は、これまでの提供会員の「量的確保」に加え、**多様化・複雑化するニーズに対応**できるよう、提供会員が自信を持って支援に当たれる体制の整備を進めます。あわせて、依頼会員との丁寧な相互理解を促進することで、**安全・安心な地域支え合いの基盤をより一層強化**します。



20250521 阿南 FSC
足育ワークショップ



20250528 阿南 FSC
ウエルカム阿南交流会



20250702 阿南 FSC 夏まつり



20250702 阿南 FSC 夏まつり



20250702 阿南 FSC 夏まつり



20250528 ウエルカム阿南交流会



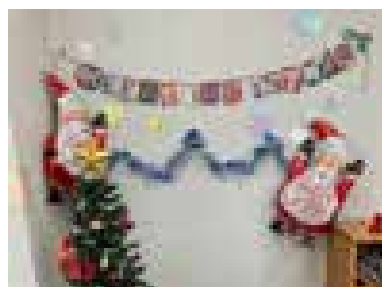
20251005 阿南 FSC 健康まつり



20251030 阿南 FSC ハロウィン交流会



20251217 阿南 FSC クリスマス交流会



20251217 阿南 FSC クリスマス交流会



20260325 阿南 FSC
ウエルカム阿南交流会



20260121 阿南 FSC
ウエルカム阿南交流会

● 鳴門ファミリー・サポート・センター

2025 年は鳴門ファミサポが開設されて 20 年の節目を迎えました。地域の少子化が進んでいる中、自治体も保育サービスの充実や経済的な支援など、これまで以上に子育て支援に力を入れるようになり、その一つとして利用補助が始まっています。子育て世帯にとって負担が軽減され、利用が増えてきています。一方で、サポートする側の提供会員は増えていないのが現状です。実働してくれている会員が慢性的に不足しており、提供会員の確保が喫緊の課題です。HP、インスタグラムなど、いろいろな方法で会員を募集していきたいと思っています。近年では、ひとり親家庭や精神的な面でフォローの必要な母親のサポートも増えてきています。関係機関と連携を取りながら、子どもたちが健やかに成長できるよう一層努力して参ります。



20250416 鳴門 FSC
ぶっく BOOK たいむ



20250604 鳴門 FSC
交流 Café わたぼうし



20250618 鳴門 FSC
ぶっく BOOK たいむ



20250618 鳴門 FSC
ぶっく BOOK たいむ



20250705
鳴門 FSC20 周年記念夏祭り交流会



20250705 鳴門 FSC
20 周年記念夏祭り交流会



20251015 鳴門 FSC ハロウィン



20251217 鳴門 FSC クリスマス会



20260311 鳴門 FSC ぶっく Book たいむ



20260318 鳴門 FSC 交流 Café わたぼうし

● 美馬ファミリー・サポート・センター

利用補助制度の開始により、依頼会員・提供会員の双方から「大変助かっている」との声を多くいただいております。また、新規提供会員についても、広報誌やイベント時に実施したファミサポ事業の説明を通じて関心を持たれた方の入会につながり、早期に活動へ参加される事例も増えています。2025年度までは託児活動が中心でしたが、**小学生の利用対象者の増加に伴い、送迎依頼も増加傾向**にあります。一方で、**提供会員の高齢化**も進んでおり、活動に対して消極的になるケースや、送迎対応が難しい会員が増えていることから、新たな課題も見えてまいりました。こうした状況に対し、その都度柔軟な対応を心掛けるとともに、既存会員への呼びかけを広げながら、実働可能な会員の掘り起こしにも引き続き注力してまいります。また、2026年10月には設立20周年を迎えます。これまでのファミリー・サポート・センターの歩みを振り返る展示をはじめ、子どもから大人まで楽しめるコーナーを設けるなど、会員の皆さまに親しみを持って参加していただける記念イベントを企画しています。



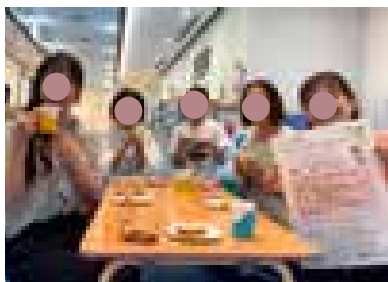
20250412 美馬 fsc 託児風景



20250527 美馬 fsc
コンディショニング教室



20250624
おしゃべり会 in みらい



20250722 美馬 fsc
みんな子育てどうしてる？



20250803 美馬 fsc 親子食育教室



20250925 美馬 fsc 藍染め体験



20251031 美馬 fsc ハロウィンパレード



20251104 美馬 fsc 子育ておはなし会



20251125 美馬 fsc みそ玉作り



20251213 美馬 fsc クリスマス会



20260127 美馬 fsc コサージュ作り



20260312 美馬 fsc 託児の様子

● 阿波市ファミリー・サポート・センター

2025年度は、**阿波市ファミサポ開設15周年**を迎え、ファミサポ同窓会や記念事業やお試し体験会の実施を通して、会員や地域の人たち、関係機関等に感謝の意を表し、さらなる事業推進に対する支援と協力をお願いしました。記念事業では、阿波市ファミサポの歴史を実感できる写真の掲示をし、また人気キャラクターショーを開催し、**1,000人近い多くの来場者に向けて周知を図ることができました。2024年度から阿波市の利用補助が始まり、エシカル補助金との2本立ての補助**となりましたが、**依頼件数は年々減少**していて、特に小学生の保護者の利用が顕著に減っているのを受けて、依頼促進に特化したチラシを作成し、市内全小学校と子ども園に配布しました。保護者が気軽に安心して預けることができるようにし、新たな依頼会員が増えるようにしていきます。提供会員数も微増にとどまっているため、広報活動をより活発化させ、提供会員向けの新たな研修会を計画し、参加を促し、会員増を目指します。



20250517 阿波 fsc むすびまつり



20250807 阿波 fsc 木工・藍染体験教室



20250912 阿波 fsc
フラワーアレンジメント



20251012 阿波 fsc
図書館まつり .JPG



20251123 阿波 fsc
アエルワまつり



20260115 阿波 fsc
離乳食講座



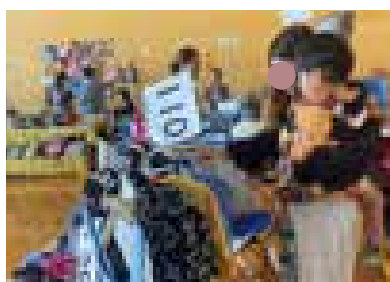
20260224 阿波 fsc
子育て座談会



20260228_ 阿波 fsc
ファミサポ託児体験会

● かいようファミリー・サポート・センター

2025 年度も引き続き、前年度の活動件数を上回り、**利用ニーズの高まり**が見られました。目標としていた「**断らないファミサポ**」についても、**休眠会員の掘り起こし**や**新規提供会員の登録により実働会員が増加**し、概ね実現することができました。一方で、状況によっては支援者の確保に苦慮する場面もありました。今年度は、登録者の状況を丁寧に把握し、**休眠会員の掘り起こしを一層強化**していきます。また、町広報の活用やチラシ作成を通じて、周知方法を工夫し、ファミサポを知らない方への認知拡大にも努めていきます。



20250525 かいよう fsc
ええとこどりフェスタ



20250618 かいよう fsc
会員講習会「AED 講習」



20250701 かいよう fsc
韓国家庭料理教室



20250803 かいよう fsc
交流会「夏のお楽しみ会」



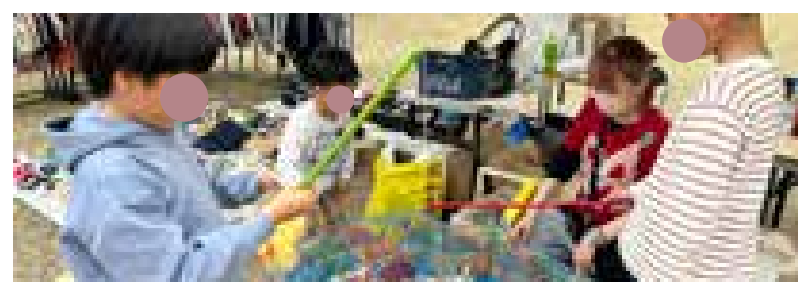
20251120 かいよう fsc
交流会「塩麴作り教室」



20251221 かいよう fsc 10 周年記念クリスマス会



20260121 かいよう fsc
研修会「防犯教室」



20260329 かいよう fsc 出張登録会@海陽町合併 20 周年祭

● 吉野川市ファミリー・サポート・センター

利用補助制度が周知され始め、依頼件数やマッチング件数は増加してきました。これに比べ提供会員は不足しており需要と供給のバランスが取れていません。提供会員増加のために、拠点での声かけ、ボランティア活動をしている人への声かけなど、すぐに活動をしてくれそうな人へ、ポイントを定めて広報活動を行ないました。声かけの成果もあり数人の提供会員を確保することが出来ました。最近は多種多様なご家庭があり、依頼内容が重厚であることが多くなっています。2026年度は、このようなご家庭にも柔軟に対応できるように取り組んでまいりたいと思います。また、依頼会員が安心して預けてみようと思える広報を展開していきます。需要と供給のバランスがとれ、地域の方の協力していただき、安心・安全に活動してまいります。



2025.5.10 吉野川市 FSC
母の日フラワーアレンジメント



2025.5.24 吉野川市 FSC
防災フェス



2025.6.3 吉野川市 FSC
バランスボールで弾もう



2025.7.27 吉野川市 FSC
ポスター作り



2025.8.9 吉野川市 FSC
ファミサポ講習会



2025.9.27 吉野川市 FSC
子育て相談会（つながり）



2025.10.31 吉野川市 FSC ハロウィンファッションショー



2026.02.06 吉野川市 FSC
乳幼児救急救命法&オカリナ演奏



2026.02.07 吉野川市 FSC
親子でジャーマンポテトを作ろう



2025.12.19 吉野川市 FSC クリスマス会

(1) 交流イベントの開催

会員同士や親子の交流、そして情報交換の場として、定期的に交流イベントを開催しています。このイベントを通じて、ファミサポの重要性を広く周知し、会員の拡充にもつなげています。年に一度、すべてのファミサポが協力し、「あい♡あいファミサポフェスティバル」を開催し、ファミサポ間のつながりを強化しています。今年度はあすたむらんど徳島との共催で「こどものまちーお仕事体験ー」を2日間開催しました。

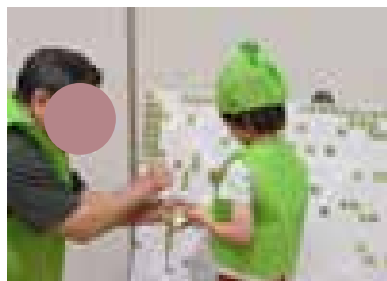
① こどものまちーお仕事体験ーあい♡あいファミサポフェスティバル

と き：2025年6月14日（土）15日（日）10：00～14：00

ところ：あすたむらんど徳島

参加者：2日間合計お仕事体験数 2219 人

内 容：38 種類の職業体験ブースを設置し、0 歳から 12 歳までの子どもが楽しみながら体験でき、仮想通貨の給料を発行し、おもちゃや食べ物を購入することができる。
すべての体験が学びとなった2日間となりました。



② 各ファミサポでの交流会の開催

● 交流会の開催状況は、巻末の「2025年度上期スケジュール」をご参照ください。

(2) 子育て相談会

子育て中の保護者や関係者を対象に、日ごろの悩みなど自由に交流・相談できる子育て相談会を開催しています。

(3) 会員講習会

安心して子育てサポートを提供できるよう、必要な技術や知識を習得するための講習会を開催しています。徳島市と吉野川市では無事に講習を終え、特に吉野川市では土日に開催することで、

受講の機会を増やしました。藍住町、阿波市、阿南市でも積極的に広報し、実際に活動できる提供会員の確保に努めます。

また、救急救命に関する講習は、サポートを行う上で欠かせないため、各ファミサポで随時実施しています。

日程	会場	延べ人数
5/16～6/5	徳島市	186名
7/26～8/17	吉野川市	156名
9/10～9/29	藍住町	137名
12/2～12/10	阿波市	91名
1/30～2/19	阿南市	74名

(4) 両方・提供会員研修会

両方会員・提供会員の会員獲得またはスキルアップ研修を兼ねて会員研修会を開催しています。各ファミサポではそれぞれ工夫を凝らした研修会を開催しています。

(5) ファミサポ機能強化事業の対応

ファミリー・サポート・センターでは、**病児・病後児預かり事業**を始め、様々な困難を抱える**子どもや家庭に対応**しており、サポート依頼が多様化しています。**アドバイザーや提供会員のレベルアップ**を図り、よりよいファミサポ活動の提供に努めます。

①ファミサポネットワーク連絡会

行政のファミサポ担当者とファミサポアドバイザーが一堂に会し、報告や今後の方針等について協議します。行政の担当者は1年もしくは数年で替わることが多く、**ファミサポの現状を知ってもらえる良い機会**でもあります。

第1回

と き：2025年7月10日（木）10：00～11：30

ところ：わーくぴあ徳島5階 502会議室

対象者：徳島県子育て応援課、市町村担当者、ファミサポアドバイザー

参加者：42名

内 容：病児・病後児預かり事業の報告

ヒヤリハット事例報告

ワークショップを実施

各ファミサポで予めヒヤリハット事例を抽出しておき、6つのテーマに分けてそれぞれの事例に沿って興味のあるテーマに分かれてもらい、事例に対する原因と対策について話し合ってもらいました。

第2回

と き：2026年2月16日（月）13：30～15：00

ところ：わーくびあ徳島5階 502会議室

対象者：徳島県子育て応援課、市町村担当者、ファミサポアドバイザー

参加者：38名

内 容：虐待防止に関する講習について

性被害防止対策について

今後の方向性として、どのような対策を講じるべきか、「宣誓書」を用いる場合の留意点や抑止力について話し合いました。

②病児・病後児預かり等にむけて

今年1月より那賀町でも病児・病後児預かり事業が始まり、4カ所（板野東部、徳島、かいよう、那賀町）に拡充しました。病気や病後の子どもを預かる際には、依頼会員と提供会員とをつなぐアドバイザーがよりきめ細やかな対応が求められており、丁寧な打ち合わせと医療機関との連携を密に今後もサービスの拡大を働きかけていきます。

■医療機関との連携

田山チャイルドクリニック田山院長に医療アドバイザー再任を依頼し、協力を得ています。

■病児・病後児預かり研修会の開催

	開催日程	場所	受講者人数	修了者
第一回	7月	藍住町	21名	5名
第二回	10月	徳島市	24名	4名
第三回	2月	阿南（Zoom）	23名	3名

■カリキュラム

科目	時間数	講師
病児・病後児を利用する子どもの主な症状と対応	120分	医師
病児・病後児保育における感染症対策	90分	医師
リスクマネジメント	60分	看護師
子どもが病気の時の保護者支援	60分	看護師
薬に関する知識	30分	薬剤師
病児・病後児保育における環境整備	60分	病児保育士
病児・病後児の概要	30分	担当者

■フォローアップ研修

・E会員交流会&研修会

病児研修7.5時間研修を修了したエクストラ会員（通称E会員）を対象に、フォローアップ研修を開催するとともに、会員間の意見交換交流会を開催し、スキルアップに努めます。

①徳島ファミサポ

E 会員研修会

と き：1月15日 10：00～12：00

ところ：ふれあい健康館

内 容：乳幼児の事故防止についてヒヤリハットを考えよう

参加者：E 会員

②板野東部ファミサポ

ほっとサポーターズカフェ

と き：11月17日 10：00-12：00

ところ：藍住町勤労女性センター

内 容：活動についてのヒヤリハットと意見交換会

参加者：E 会員

③アドバイザー等レベルアップ研修

発育とおもちゃ ～子どものおもちゃの安全を考える～

講 師：専門学院 健祥会学園保育学科 山地 貴子氏

第一回 8/26(火) 10：00-12：00 美馬会場（ミライズ 集いのハコ）

第二回 9/1(月) 13：00-15：00 徳島会場（アスティとくしま第5研修室）

第三回 9/5(金) 10：00-12：00 阿南会場（阿南ひまわり会館）

“寄り添う”力をみがくーバイスティックの7原則実践研修ー

講 師：国立大学法人鳴門教育大学大学院学校教区研究 准教授 木村 直子氏

第四回 11/6(木)10：00-12：00 徳島会場（アスティとくしま第4会議室）

（6）オンライン登録の推進

出産後に外出が難しい親や、交通手段がない会員のために、**オンラインでの登録を推進**することが重要です。特に、広域で対応しているファミサポ（例えば徳島ファミサポや板野東部ファミサポ）においては、出張登録が物理的に難しい場合もあります。ファミサポの**仕組みやサポート内容、登録方法を簡単でわかりやすくしたホームページ**にリニューアルしました。

具体的には、**動画を使って、利用者が簡単に登録手順を理解**できるようにし、今後は**オンラインでの登録手続きが可能なシステムを導入**することを急ぎます。これにより、遠方に住んでいる会員や育児中で移動が困難な親も、安心してサービスにアクセスできる環境を整えていきます。

（7）ファミサポプラス

2022 年度に実施された「ファミサポプラス」についてのアンケートでは、依頼会員に対して「ファミサポにどのような機能が追加・充実されたら良いか」を尋ねたところ、『**家事支援**』が**最も多く、約 6 割が「追加されれば良い」と回答**しました。

そこで、現在のファミサポの仕組みを活用し、家事支援機能を追加することで、産前産後の家庭や多胎児育児、育児と介護を両立するダブルケア家庭などの負担を軽減できると考えます。また、対象年齢の引き上げによって、**ヤングケアラー（家族の世話をする若者）の早期発見にもつながる可能性があります**。これにより、より幅広い支援を提供し、子育て家庭を支える体制が一層強化されることが期待されます。

さらに、松茂町・美馬市・阿南市とで子ども家庭センターの新規事業として「子育て世帯訪問支援事業」を運営することになり、2026年度は、鳴門市で「親子関係形成支援事業」を運営することとなりました。今後は、県内すべての子育て家庭において「ファミリーまるごと支援」としての家事支援を取り入れたファミサポの新たな形を提案し、実現に向けた取り組みを続けていきます。

(8) ワンストップサービスの構築

「子育ての問題」は、複数の課題が複雑に絡み合っているのが常であり、単一の問題を解決しただけでは、すべての課題が解決するわけではありません。そのため、総合的なサポートが不可欠です。このような総合的支援こそが、子育て支援サービスの重要な役割だと考えます。

そこで、これまでに培ってきたネットワークや知識をデータベース化し、可視化する仕組みを構築することに着手します。これにより、県内のファミサポが抱える相談事例やヒヤリハット事例を共有し、ファミサポスタッフのスキル向上や、利用者へのより適切な情報提供に繋がっていきます。

また、他の社会的支援に関する情報も積極的に収集し、必要とする家庭に対して効果的に情報を発信していくことをめざします。これにより、子育て中の家庭が抱える様々な課題に対し、より包括的で適切なサポートを提供できるようになると考えています。

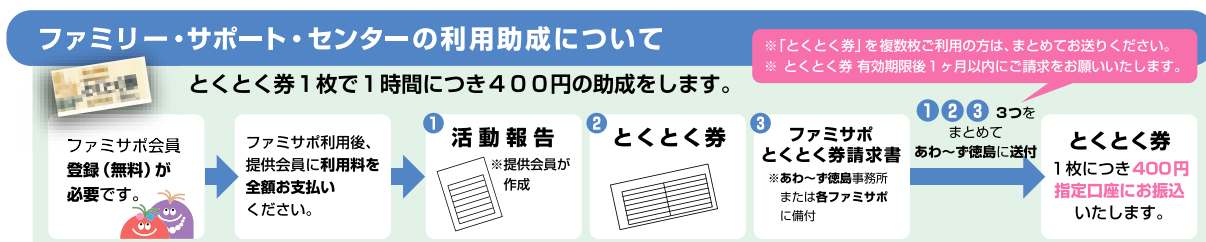
(9) 他事業との連携によるシナジー効果

■ファミサポ会員特典としての「くーぽん丸。会費割引」

ファミサポ会員に対して、通常 770 円の会費のところ 570 円で提供しています。2026 年度も引き続き会員サービスを続けます。

■あわ～ず徳島会員への利用補助

あわ～ず徳島の会員サービスのひとつに「ファミサポ利用補助」があります。2026 年度も引き続き利用促進に向けて働きかけます。



(10) 子育て世帯への支援

①ファミサポ利用支援子育て基金

財団では、ファミサポを利用したくても経済的な理由で利用を控えざるを得ない家庭を支援するため、「ファミサポ利用支援子育て基金」を設立しています。これまでの年間 15,000 円（一人目の利用者には全額補助）のサポートでは十分でないケースが増えてきたため、支援額を半年ごとに 15,000 円（一人目の利用者には全額補助）に改訂し、サポートに伴う交通費も全額補助することとしました。

今後は財源の確保が重要となるため、引き続きファミサポネットワーク連絡会や SNS を通じて広報活動に力を入れていきます。

②ファミサポ利用補助の実施

徳島県内では 1999 年の設置以来、ファミサポのサポート料金が 700 円と据え置かれたままです。有償ボランティアとはいえ、活動の責任の重さを考えると、この料金は決して十分とは言えません。

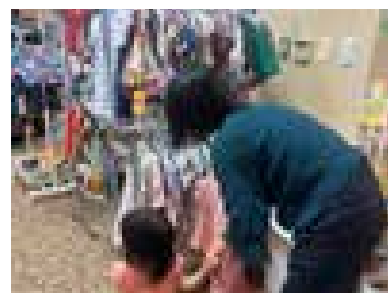
一方で、2022 年 7 月から海陽町で始まった「ファミサポ利用補助」制度は、依頼会員と提供会員の双方に補助金が支給され、**他の市町村も補助を開始する所がたくさん増えてきましたが、市町村ごとに違う補助金額や補助できる時間数、また依頼会員への補助の差も大きく違います。**また、このような補助制度自体が導入されていない自治体もまだあります。今後は、可能な限り制度の統一を進めるため、行政当局にも引き続き提案していく予定です。

2. 子ども預かり事業



● パーク テレコメディアこども室

運営 5 年目という節目を迎え、これまで積み重ねてきた取組を大切にしながら、新たなニーズの発見とサービスの充実に努めてまいりました。利用件数一件一件に対し、スタッフが利用者と同一目線に立って「本当に必要なもの」を形にすることを心がけた結果、利用者との信頼関係が着実に深まり、SNS や口コミを通じて新規利用者やリピーターが増加しています。託児事業では年間 100 名ほどを受け入れ、発達障がい児への個別対応など、配慮が必要なケースにも柔軟に対応しました。また、相談や見学事業を通じて、発語の遅れやワンオペ育児の悩み、働き方の相談など、保護者の心に寄り添う「**地域の実家**」のような安心感のある場づくりをしています。リユース事業においては約 3,900 件の利用があり、地域の支援拠点として生活困窮世帯への支援や公的機関との連携、さらに「お気持ち募金 (95,271 円)」の寄付など、持続可能な循環型支援を確立しました。2026 年度は、徳島にぎわい創出共同事業体 (JV) との連携を軸に、さらなる利用の幅を拡大し、より質の高いサービス提供と効率的な運営体制の構築を目指します。これまでの実績を礎としながら、ファミリー・サポート・センターや子育て支援センター、行政機関と緊密に連携し、地域に根ざした「**切れ目のない子育て支援**」に邁進してまいります。



● 子育てひろば「一時預かり事業」

現在「吉野川市子育て支援センターちびっこプラザ」、「阿波子育て支援センターあおぞら」においても地域子育て支援拠点事業の一環として託児を実施しています。

吉野川市では、託児の**預かり件数は増加傾向**にあります。保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりに努めてきた結果、利用者からの信頼が高まり、**保護者同志の口コミを通じて利用が広がっています**。また、**在宅育児応援クーポンの利用が可能であることも利用促進の一因**となっております。さらに、**こども園の入園を見据えた、慣らし保育**としての役割も果たしており、保護者から好評を得ています。利用者の満足度も高く、リピーターが多いことも特徴の一つです。毎回利用前には、子どもの状況や保護者の要望について丁寧な聞き取りを実施し、安全で安心できる保育の提供に努めてまいります。今後も引き続き、質の高い託児と信頼関係の構築に取り組んでまいります。

● 海陽町未就学児預かり事業

2017年度より海陽町において、卒園から小学校入学までの**休暇中の未就学児を対象に預かり事業を実施**しています。2025年度は卒園後も町内保育所が卒園児の預かりを実施する期間があったため、開催期間が例年より短縮されました。今後は、近隣保育所と連携しながら、適切な開催期間を検討していきます。また、3月に異例の大雨警報が発令され、町と協議の上、1日休所としました。近年の予測困難な自然現象を踏まえ、今後は**緊急時の対応など、規約の見直し**等を行い、安心安全に利用できる体制整備を進めてまいります。

第1回 2025年4月1日～4月8日（6日間）延べ27名（児童）

第2回 2026年3月27日～3月31日（2日間・1日休所）延べ9名（児童）

● 出張託児「きらり」

2025年度は、継続的なご利用に加え、**2日間にわたる全国規模の集会や公的機関からの依頼・問い合わせが増加**し、前年度を上回る実績を収めることができました。大規模な会場での多人数託児から、議会の会期中における対応、また定期的な会合など、多様な場面での需要に対し、柔軟かつ確実なサポートを行ってきました。また、ファミリー・サポート・センターとの協力体制をさらに深めたことで、**今年度は登録スタッフが総勢132名の体制へと拡充**されました。これにより、**支援の受け入れ能力を「質」と「量」の両面から向上**させることができています。2026年度は、この強化された体制を基盤とし、**地域内のどこでも利用可能なネットワークを維持**しながら、一人ひとりの状況に寄り添った丁寧な関わりを継続します。今後は、幅広い年齢層や、**特別な配慮が必要なケース**など、多様な環境下においても質の高いサポートを安定して提供できるよう、スタッフの専門性の向上と、より強固な実施体制の構築を目指してまいります。

● 託児付き講習会の実施

ファミサポ講習会やセミナー等における託児活動は、**提供会員が日頃の研修成果を発揮する重要な実践の場**として定着しています。この取り組みは、受講する保護者にとって「安心して自身の将来や学びに集中できる貴重な機会」であると同時に、提供会員にとっては、複数名で協力して託児にあたることで会員同士のネットワーク構築や情報共有の場にもなっています。1対1のサポートにはまだ不安があるという提供会員にとっても、チームでの託児経験が大きな自信となり、その後の単独サポートへ踏み出す強力なバックアップとなっています。2026年

度も、利用者のニーズに応える託児環境を継続して提供し、子育て世代の自己実現を支えるとともに、提供会員のスキル維持と意欲向上を図り、地域全体で子どもを育む機運を高めてまいります。

3. 地域子育て支援拠点事業



地域子育て支援センターは、**地域と親子を結びつける「架け橋」**の役割を果たし、親子が気軽に集まれる場所です。ここにファミサポを併設することで、サポート活動が一層容易になり、相乗効果が期待できます。

● 美馬市子育て支援センターみらい

昨年度に実施した**男性育児促進事業「パパもあそぼー♪」**および、地域ボランティアの協力を得て開催したコラボイベントについては、「みらい」の事業として継続・発展していくこととなりました。今後も、さまざまな立場や年代の方々に関わっていただきながら、地域とのつながりを大切にし、幅広い展開につなげてまいります。また、これまで実施してきたイベントについても継続しながら、利用者の声に丁寧に耳を傾け、ニーズを的確に捉えた事業の実施に努めてまいります。さらに、子ども家庭センターや発達支援の専門機関等との連携を図りながら、利用者が抱える不安の軽減に努め、安心して子育てを楽しめる環境づくりを推進してまいります。今後も、「安心・安全な環境づくり」を原点とし、より良い「みらい」を追求しながら、地域に根ざした活動を前進させてまいります。



20250705 パパもあそぼー♪



20250707 七夕（琴演奏）



20250804 ふれあいあそび



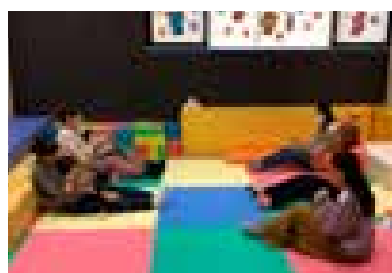
20250128 誕生会



20251026 Hey!Hey!Hoo!



20251116 パパもあそぼー♪



20251201 絵本の読み聞かせ



20260202 節分



20260302 ひなまつり

● 海陽町地域子育て支援センターあのね

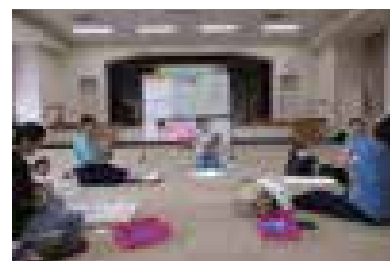
2025 年度は少子化の影響もあり、**新規登録者数は前年度の半数程度に減少**しましたが、全体の利用者数は大幅な減少には至りませんでした。近隣町からの利用や里帰りによる帰省利用も多く、一定の需要が見られました。母親向けのマッサージなどリフレッシュイベントは特に人気が高く、来年度も子育て中の心身のリフレッシュにつながる企画を積極的に取り入れていきます。また、第1子出産後で地域とのつながりが少ない家庭に対しては、**BP1 プログラムの参加募集を強化**し、子育て仲間づくりを促進するとともに、支援センター利用のきっかけづくりを図り、孤立しがちな子育て解消に努めていきます。



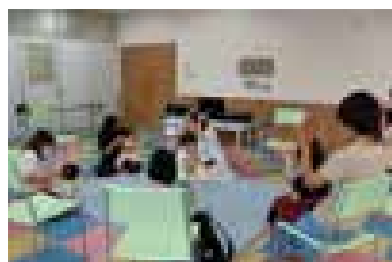
20250416 製作の日「こいのぼり」



20250508 ヨガピクニック



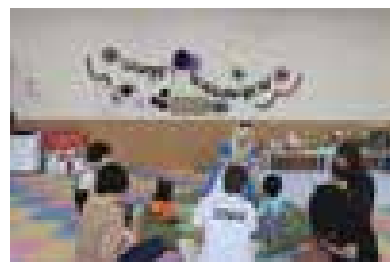
20250516 BP1 プログラム



20250604 音楽ひろば



20250820 製作の日「風鈴づくり」



20251016 英語でリズム遊び



20251126 お誕生会「大きなかぶ」



20251203 音楽ひろば



20260319 あのね卒園式

● 阿波子育て支援センターあおぞら

2025 年度は、地域の人々や関係機関等とのつながりを大切に、様々な共催イベントを実施しました。むすびまつり、図書館まつりでは、あおぞらの設置場所のあわむすび地域の各施設等と連携して、市内外の多世代の人々を迎えて交流することができました。あおぞら開所 5 周年記念事業では、あおぞらの歴史や活動の様子を掲示板で発信し、またキャラクターショーを開催、あおぞらについての広報を行うことで、より多くの来場者にあおぞらを知ってもらうことができました。今後も、各種研修会や相談会、交流会を実施したり情報発信を積極的に行ったりし、また日常のあおぞらの時間も大切に、誰でも「ちょっと行ってみよう」、「また行ってみよう」と思えるような、居心地のいい温かい場所にしていきます。そして、子どもと関わる仕事は、命を預かる責任のある仕事であり同時に、大人自身が成長し、気づきもらえる仕事です。子どもたちが「大人って楽しそう」そう感じられるように、これからも来所親子と一緒に楽しみながら見守り関わっていきます。



20250509 トマトの苗植え



20250609 さつまいもの苗植え



20250924 おむすびクラブ



20251030 ハロウィンパーティー



20251123 アエルワまつり



20251220 クリスマス会



20260128 手形アート



20260210 紅茶教室



20260318 ミュージック・ケア

● 吉野川市子育て支援センターちびっこプラザ

2025 年度は、地域の方たちの協力のもと、子育て家庭を支援する多様な取り組みを実施しました。地域の方々によるボランティア活動として、演奏会や英語を取り入れた遊びのイベントを開催し、親子が楽しみながら交流できる機会の充実が図られました。また、利用者からの要望に応え「ハイハイレース」を実施したところ、多くの参加者から好評を得ることができました。利用者ニーズを踏まえた企画により、満足度の向上につながっています。さらに、**水曜日については、市外在住者の利用が可能となり、市内在住者との新たな交流**が生まれています。これにより、地域を超えた、つながりの形成が促進されています。加えて、施設全体で取り組んだ**「市民プラザふれ愛フェスティバル」では、約 1,000 人の来場者**があり、大きな賑わいを創出することができました。本事業を通じて、職員間および関係者間の協力体制が強化され、連携の深化が図られています。今後も、地域にひらかれた交流の場として、誰もが安心して過ごせる居心地の良い施設づくりを目指します。



20250425 誕生会



20250708 マタニティヨガ



20250822 お寿司 de レース



20250924 ママピラティス



20251002 歯と栄養のお話し



20251129 市民プラザふれ愛
フェスティバル



20251203 Let 's have fun



20260130 節分イベント

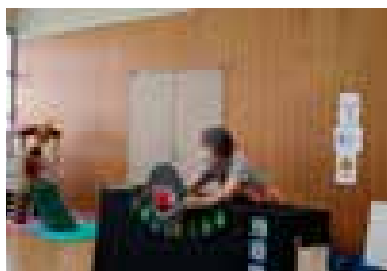


20260213 ハイハイレース

● 徳島市親子ふれあいプラザ

2025年度は、職員の研修に注目しました。賀川豊彦学校では福祉について知り、心のサポーター養成講座では傾聴の姿勢を学びました。特に、親子ふれあいプラザ2人目となる防災士の資格取得には尽力し、スタッフ全体の防災意識が向上しました。館内の安全確保や避難導線を考えるなど、利用者が安心・安全に過ごせる環境作りをこれからも意識してまいります。

親子ふれあいプラザの利用者には、転勤で徳島に来ているご家族も多く、市の職員から紹介されてプラザに足を運んでくれる方もいます。その中で、周辺の地理感がなくて困る、どこで友達を作ればいいのか、といった声をお聞きすることもありました。2026年度は、今まで以上に転勤族の利用者に対してのサポートを心掛け、近隣の子連れで食事ができる施設や遊び場の情報を収集したり転勤族の家族同士で話ができる座談会の開催を検討したりと、徳島県に住んでいるスタッフの特色を活かし、これからも利用したいと思ってもらえるような支援センターにしていきたいと考えております。



20250416 すだっちーずお歌の時間



20250527 身体計測



20250702 ストレッチ教室



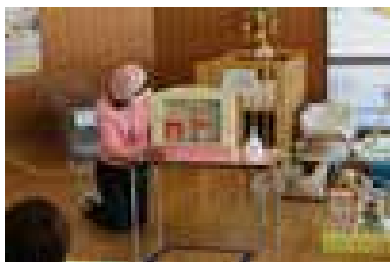
20250917 全身運動あそび



20251125 おんぶ紐講座



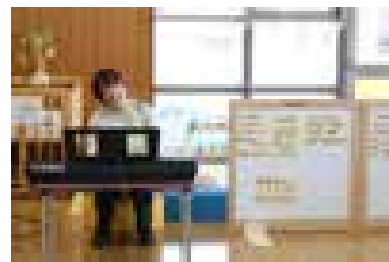
20251223 クリスマス会



20260204 保湿講座



20260311 プレババ・ママ
子どもの写真を残そう



20260317 音楽あそび

● オンライン子育てひろば「あうん・じょ」

2025 年度よりスタートした「おうたひろば♪」ですが、今年度より、開催時に親子ふれあいプラザの館内を案内する動画を流すようにしました。家で手軽に参加できることがメリットのオンラインの場合はありつつも、実際の施設を見ていただくことで、保護者の方に少しでも支援センターに興味を持っていただけたらと考えています。また、プラザで開催したイベントを、後ほど参加したかったと思ったときに、『あうん・じょ』を知っていただけるように、掲示などの広報にも力を入れてまいります。



4. 学童保育事業



勤労者が仕事と子育ての両立ができるよう、切れ目のない子育て支援事業の推進に向け、2025年5月に、有識者、学童保育関係者、労働関係代表者、社会保険労務士などの方々で組織する「徳島市の学童保育の充実をめざす会」を立ち上げました。

めざす会では、徳島市内の学童保育クラブの実態調査や先進地視察を実施し、その活動報告を含め、市民や関係者みなさんの学童保育への理解を深めるため、2026年1月にはシンポジウムを開催しました。また、2026年4月から開所予定の学童保育クラブの開設準備支援を行いました。今後についても、学童保育の充実をめざし、子どもたち、保護者、放課後児童支援員のみなさん、そして地域にとってより良い“四方よしの学童保育づくり”をめざし取り組みを進めてまいります。

○第1回学童保育の充実をめざす会

と き 2025年5月15日(木) 15:00～

ところ (公財) 徳島県勤労者福祉ネットワーク会議室

議 事 学童保育事業の概要等について



○第2回学童保育の充実をめざす会

と き 2025年9月5日(金) 16:00～

ところ (公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク会議室

議 事 学童保育のヒアリング調査実施状況(中間報告)について

学童保育の
充実をめざす会



○先進地の視察

日 程 2025年10月16日(木) 13:00～16:00

視察先 (公財)岡山市ふれあい公社 岡山ふれあいセンター(岡山県岡山市)

内 容 放課後児童クラブの運営方法等についてヒアリング、現地のクラブを見学

○徳島市の学童保育の充実をめざすシンポジウム

と き 2026年1月25日(金) 14:00～16:30

ところ テレコメディアホール(アスティとくしま内)

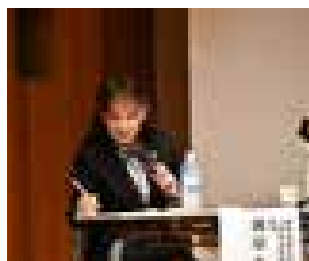
基調講演 「岡山市立の放課後児童クラブの運営(現状)について」

講 師 (公財)岡山市ふれあい公社 子ども支援部

子ども支援課 課長 小野 徳子 氏

参 加 125名

内 容 先進地である岡山県より講師を招き、岡山市立の放課後児童クラブの現状やこれまでの経緯についてご講演いただきました。その後、徳島市担当課より徳島市の現状報告を行うとともに、事務局からは「めざす会」の取り組みについて報告いたしました。また、関係者によるパネルディスカッションでは、放課後児童クラブ運営における**行政の統一基準の重要性**などについて活発な意見交換が行われ、理解を深める機会となりました。



5. 次世代育成支援事業

赤ちゃん授業事業



子育てサポート部

2025年度は、徳島県委託事業として**大松小学校や三島中学校など県内4校で実施**したほか、**阿南市・美馬市・鳴門市の小中学校においても実施**しました。助産師による講義や実際の親子とのふれあい、父親の育児動画の視聴を組み合わせた「赤ちゃん授業」を展開し、当初は育児にネガティブな印象を持っていた生徒たちが命の重みや将来への希望を抱くといった意識変化と自己肯定感の向上を実現できました。実体験を通じた学びのさらなる充実や、アンケート項目を整理し、**生徒たちの心の動きをより細やかに捉えることで事業の質を向上**させ、次年度は県内全自治体の中学校での実施を目指すとともに、生徒一人ひとりが「自分は価値のある存在だ」と実感しながら、性別を問わず育児を自分事として捉え、**男性の育児休業取得が当たり前となる社会の実現に向けた地域交流の促進と環境づくり**を一層加速させていきます。

Ⅲ．ライフサポート



ライフサポート部



ライフサポート部では、子育て支援員研修や保育士等キャリアアップ研修、女性や若者の活躍を後押しする講座やキャリア支援、地域課題の解決に向けたコミュニティビジネスセミナーの開催など、多様な取り組みを展開しています。さらに「ハートフルゆめ基金とくしま」を軸に、寄付や助成を通じて地域社会を支える仕組みづくりを進めるとともに、「ユニバーサル・カフェ」では、多様な人々が交流し理解し合える社会の実現をめざし、また「マリッサとくしま」による結婚支援事業では、出会いの場の提供やネットワークづくりを進めています。

1. 結婚支援事業

とくしまマリッジサポートセンター（マリッサとくしま）

2016年7月に開設されたマリッサとくしまも、2026年には10周年となります。これからも今まで以上にマリッサとくしまが利用しやすく県内の独身者に向けて出逢いの場が提供できるよう阿波の縁むすびサポーターの組織化、市町村との連携強化、イベントの充実などを目標に進めてまいります。2026年（10周年）を目標達成へ向けた一つの区切りとし、「開かれたマリッサ」（参加へのハードルをできるだけ低く）、「活力あるマリッサ」（サポーターが活き活きと活躍でできる仕組みの構築）、「連携豊かなマリッサ」（自治体や応援、協賛企業団体とのさらなる連携）を目標課題として、10周年記念事業へ向けた準備を進めます。

実績（昨年度同時期での比較）

事業名	() は前年度比
マッチング（1対1のお見合い）登録者数	654（94人減）
イベントユーザー会員数	4,266（517人増）
阿波の縁むすびサポーター	96（9人減）
誕生カップル（マッチング）累計	3,816（364人増）
誕生カップル（イベント）累計	2,266（260人増）
成婚者数 累計	197組（14組増）

（1）市町村及び企業・団体との連携強化

とくしま結婚支援ネットワーク会議

とくしま結婚支援ネットワーク会議は、県内市町村及び企業・団体における結婚支援の取組状況やマリッサとくしまとの連携について情報交換を行うとともに、先進的に取り組んでいる他県の事例の共有、市町村や企業及び団体からの意見、提案等を取り入れ、徳島県全体で総合的な結婚支援に取り組めるような関係構築を図っていくことを目的とした会議です。

と き：2025年7月29日（火）14：00～16：30

ところ：徳島新聞カルチャーセンター徳島本校

内 容：市町村の担当者13名、企業団体の担当者10名参加のもと、石堂理事長、県担当課長より挨拶がなされ、事務局から、マリッサの現状（現在までの実績など）、県、市町村、企業団体と連携したイベントの報告などを行いました。市町村の取り組む

事例として、吉野川市、鳴門市から発表、協賛企業を代表して喜多機械産業株式会社から発表を行ったあと、意見交換を行い、応援企業によるイベント開催を通じて感じた課題や、協賛企業が取り組んだ結婚支援などについて発言がなされ、情報の共有が活発に行われました。

(2) マリッサとくしま事業推進連携会議の開催

「マリッサとくしま事業推進連携会議」は、委託元の徳島県と、勤労者福祉ネットワーク（マリッサとくしま）が知恵を出し合い、結婚支援事業の拡充と実績の向上に向け、また、県と財団の連携を軸にスムーズに運営できるよう努力することを目的とし、2018 年より、年1～2回のペースで開催しています。

マリッサとくしま事業推進連携会議

と き：2025 年 5 月 19 日（月）13：30～15：00

ところ：財団小会議室

内 容：これまで当会議で協議され実現したものとして、利用者の駐車料金の補助ができるようになったこと、会員を拡大へ向けたキャンペーン事業が実現したことなどを共有したうえで、課題としてマッチング登録者数の減少、開設10周年事業について、成婚者数の算定方法について等が協議されました。

(3) 阿波の縁むすびサポーターのスキルアップ研修の充実

2026 年 3 月末で 96 名の登録がありました。今年度もサポーターのスキルアップ及び活動範囲の拡大に向けて取り組んでいます。

阿波の縁むすびサポーター研修・交流会①

と き：2025 年 6 月 21 日（土）13：30～

内 容：個人情報について

参加者：13名



阿波の縁むすびサポーター研修・交流会②

と き：2025 年 6 月 28 日（日）13：30～

内 容：個人情報について

参加者：13名



(4) マリッサプラス+の取り組み

2024 年「企画コンペ」で、マリッサスタッの企画「マリッサプラス」が「優秀賞」を獲得し、昨年 11 月には具体化、開催されました。「マリッサプラス」は、元気なシニア層が有意義な時間を過ごせる仲間・交際相手・パートナーに出会える場の創造により、高齢者のコミュニケーションの機会を増やし、有意義な時間、楽しい人生を過ごすきっかけづくりとすることを目的としており、58 歳以上の独身者を対象としたイベントです。

マリッサプラス①

と き：2025年6月8日（日）14：00～

会 場：ふれあい健康館 2 階第 2 会議室（徳島市沖浜東 2 丁目 16）

参加者：男性 18 名／女性 22 名

マリッサプラス②

と き：2025年12月7日（日）14：00～

会 場：ふれあい健康館 2 階第 2 会議室（徳島市沖浜東 2 丁目 16）

参加者：男性 12 名／女性 11 名

（5）イベント・交流会など開催状況

2025 年度は、結婚支援コンシェルジュが 2 名体制となったことにより、市町村や企業・団体との連携でより充実した、コラボイベントを開催しています。特に 2025 年度は、「西粟の花火実行委員会とのコラボで、200 人規模の交流会を実施しました。その他の開催実績については、巻末の報告事項「2025 年度スケジュール」をご参照ください。

「花火コン」with にし阿波の花火大会

と き：2025 年 11 月 8 日（土）13:00～15:00

ところ：四国三郎の郷（美馬市美馬町字境目 39-10）

参加者：151 名



（6）他県センターとの意見交換（とっとり出会いサポートセンター）

とっとり出会いサポートセンターの視察を兼ねた意見交換会を実施しました。双方の事業概要や結婚支援の取組について説明が行われ、その後、意見交換を行いました。その中で、とっとり出会いセンターにおける従業員の働き方に配慮された営業時間の設定や、会員登録料の無料化などの先進的な取組についての共有を受け、大変参考となりました。今回の意見交換会は、相互の取組を学び合い、今後の事業運営に活かすことができる有意義な機会となりました。

とっとり出会いサポートセンターとマリッサとくしまの意見交換会

と き：2026 年 2 月 3 日（火）10:15～12:15

ところ：徳島新聞カルチャーセンター会議室

徳島市寺島本町西 1 丁目 5 番地

アミコ東館 7 皆

参加者：鳥取センター 4 名／米子センター 3 名

倉吉センター 2 名／マリッサ 5 名



2. 子育て支援員研修

地域の子育て支援の”量の拡充”や”質の向上”を進めるために「子ども・子育て支援新制度」が、2015年4月に本格スタートし、その担い手となる人材の確保のため、「子育て支援員研修」が実施されることとなりました。2025年度も引き続き受託が決定し、154名の申込みがありました。保育施設での見学実習も実施し有意義な研修を運営することができました。



2025.8.31 子育て支援員研修



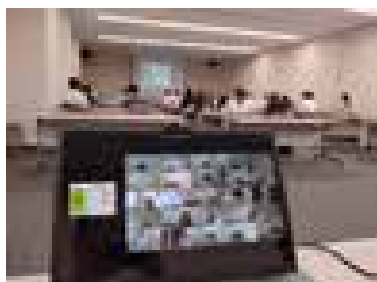
2025.12.7 子育て支援員研修



2025.12.17 子育て支援員研修

3. 保育士等キャリアアップ研修

保育現場での多様な課題への対応や若手の指導等、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上を図ることを目的とした、「保育士等キャリアアップ研修」を2021年度から受託しています。今年度も受託が決定し、**8つの分野に1,221名の応募**がありました。通常はオンライン（zoom）と集合会場に分かれていますが、実技分野のみ対面での実施となり、講師と距離の近い有意義な研修が実施できました。保育士等の処遇改善の一助を担えるよう丁寧な運営を心がけています。



2025.6.18 保育士キャリアアップ研修



2025.8.8 保育士キャリアアップ研修



2025.9.8 保育士キャリアアップ研修

4. 女性・若者活躍推進事業

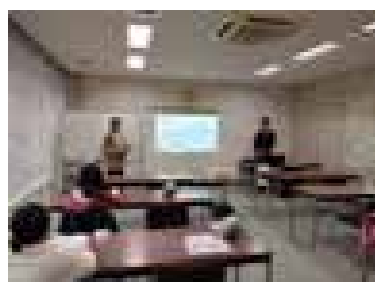
徳島市より委託を受け「女性・若者活躍推進支援事業」を企画運営しています。コミュニケーション向上や応募書類の書き方などのヒューマンスキルアップに加え、実務に使えるパソコン基礎講座の講習を企画しています。2026年1月15日（木）から2月25日（水）の間に、全16日間の日程で実施しました。



2025.1.15 女性・若者活躍推進支援セミナー



2025.2.2 女性・若者活躍推進支援セミナー



2025.2.25 女性・若者活躍推進支援セミナー

期間：2026年1月15日（木）から2月25日（水）うち16日間

日 程	講 座	内 容	講 師
1/15（木）	自分らしく働くために	自分の魅力を発信しよう	キャリア相談室 manimani（まにまに）代表 瀬尾 ふみ
1/19（月）	目に留まる！応募書類	履歴書・職務経歴書の書き	とくしま地域若者サポートステーション 所長 中村 光輝
1/20（火）	パソコン講座	実務に使える Word ①	FromNow 代表 佐々木 理恵
1/21（水）	パソコン講座	実務に使える Word ②	FromNow 代表 佐々木 理恵
1/26（月）	パソコン講座	実務に使える Word ③	FromNow 代表 佐々木 理恵
1/27（火）	パソコン講座	実務に使える Word ④	FromNow 代表 佐々木 理恵
1/28（水）	パソコン講座	実務に使える Word ⑤	FromNow 代表 佐々木 理恵
2/2（月）	話し方講座	相手に伝わりやすい話し方	アナウンスグループカインド代表 平木 彰子
2/3（火）	パソコン講座	実務に使える Excel ①	FromNow 代表 佐々木 理恵
2/4（水）	パソコン講座	実務に使える Excel ②	FromNow 代表 佐々木 理恵
2/9（月）	パソコン講座	実務に使える Excel ③	FromNow 代表 佐々木 理恵
2/16（月）	パソコン講座	実務に使える Excel ④	FromNow 代表 佐々木 理恵
2/18（水）	パソコン講座	実務に使える Excel ⑤	FromNow 代表 佐々木 理恵
2/19（木）	アンガーマネジメント	自分の感情をコントロールしよう	四国大学非常勤講師アンガーマネジメントファシリテーター 浪越 あゆみ
2/24（火）	企業が求める人材	働くために大切なこと	株式会社サネオビエント 代表取締役会長 藍原 理津子
2/25（水）	社会保険の基礎	社会保険の適用について	（公財）徳島県勤労者福祉ネットワーク 社会保険労務士 形山 直樹

5. コミュニティビジネスセミナー 2025

2015年に徳島市からの委託事業でスタートした「コミュニティビジネスセミナー」が11回目を迎えることとなりました。地域の課題解決のために起業を考える人やコミュニティビジネスに興味を持っている人を対象に開催しています。県内の先駆者を講師に招き、先進事例を学ぶとともに、ワークショップの手法で参加者の起業に向けてのビジョンを明確化することで、夢が一気に現実として花開きます。また、このセミナーは志を同じくする者同士の仲間づくりの場としても機能しています。

今年度は、過去の受講者で起業した方も講師に加わり10月の毎週水曜日全4回開催しました。

参加無料 コミュニティビジネスセミナー 2025

思いに花を咲かせよう

住民が主体となり、地域の課題をビジネスの手法で解決する「コミュニティビジネス」みなさんのアイデアや課題を聞き取り、ビジネスに昇華できるようサポート！

STEP1 10/8 13:30-16:30
思いの種を 見つけよう！
人事業・地域の課題解決のヒントにしよう！
思いの種を 見つけよう！
人事業・地域の課題解決のヒントにしよう！

STEP2 10/15 13:30-16:30
思いの種を ままよう！
思いの種を ままよう！
思いの種を ままよう！

STEP3 10/22 13:30-16:30
思いの種を 芽吹かせよう！
思いの種を 芽吹かせよう！
思いの種を 芽吹かせよう！

STEP4 10/29 13:30-16:30
思いの種を 咲かせよう！
思いの種を 咲かせよう！
思いの種を 咲かせよう！

ゲスト講師紹介

富田 真樹氏 株式会社 富田 真樹氏
富田 真樹氏 株式会社 富田 真樹氏
富田 真樹氏 株式会社 富田 真樹氏

黒部 雅典氏 株式会社 黒部 雅典氏
黒部 雅典氏 株式会社 黒部 雅典氏
黒部 雅典氏 株式会社 黒部 雅典氏

浅野 沙織氏 株式会社 浅野 沙織氏
浅野 沙織氏 株式会社 浅野 沙織氏
浅野 沙織氏 株式会社 浅野 沙織氏

杉井 ひとみ氏 株式会社 杉井 ひとみ氏
杉井 ひとみ氏 株式会社 杉井 ひとみ氏
杉井 ひとみ氏 株式会社 杉井 ひとみ氏

お申込みは速く！

お申し込みは速く！
お申し込みは速く！
お申し込みは速く！

10/3
【金曜日】

【第1回】

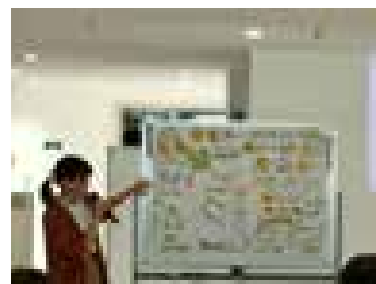
と き：2025年10月8日（水）13：30～16：30

ところ：徳島市産業支援交流センター アミコビル9階

講 師：ゲスト／株式会社紡樹 代表取締役 富浪真樹氏

ファシリテーター／吉野哲一氏

グラフィックレコーダー／高尾美由姫氏



2025.10.8 CB セミナー①

【第2回】

と き：2025年10月15日（水）13：30～16：30

ところ：アスティとくしま 第3会議室

講 師：ゲスト／NPO 法人スポーツ巡回ネットワーク

代表 黒部雅統氏

ファシリテーター／吉野哲一氏

グラフィックレコーダー／高尾美由姫氏



2025.10.15 CB セミナー②

【第3回】

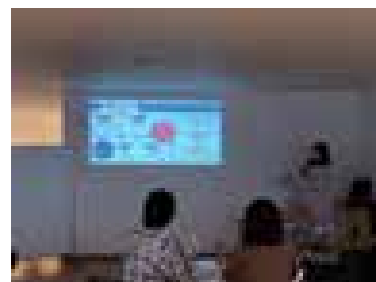
と き：2024年10月22日（水）13：30～16：30

ところ：徳島市産業支援交流センター アミコビル9階

講 師：ゲスト／一般社団法人 AWAP 代表 浅野沙織氏

ファシリテーター／吉野哲一氏

グラフィックレコーダー／高尾美由姫氏



2025.10.22 CB セミナー③

【第4回】

と き：2024年10月29日（水）13：30～16：30

ところ：徳島市産業支援交流センター アミコビル9階

講 師：ゲスト／ペット介護ステーション ジュエル

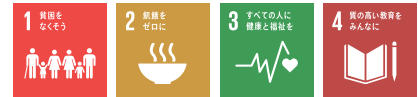
代表 杉井ひとみ氏

ファシリテーター／吉野哲一氏

グラフィックレコーダー／高尾美由姫氏



2025.10.29 CB セミナー④



6. ハートフルゆめ基金とくしま

ハートフルゆめ基金とくしまは、地域の課題に向けて取り組む NPO 法人等を応援するために設立され **2024 年度に 10 年目**を迎えました。2025 年 7 月には「**10 周年記念フォーラム**」を開催し、これまでの歩みと今後の展望について共有を深めたとともに、20 団体の NPO ブース展示で連携を図りました。2026 年度も他事業部との連携を強化し、よりよい仕組み作りに努めます。

(1) 2025 年度冠基金の現状について

募金№	2025/3/31	寄付		助成額		2026/3/31
		件数	合計	件数	合計	
8000 ハートフル社会貢献基金	2,366,639	29	566,680	6 団体 (手数料)	610,000 (31,244)	2,292,075
8001 ファミサポ利用支援子育て基金	2,893,585	51	637,494	57 回 (手数料)	197,088 (33,330)	3,300,661
8004 DV 被害者サポート活動支援基金	107,250	0	0	0	0	107,250
8005 外国人との共生とくしま交流基金	280,400	2	10,000	0	0 (500)	289,900
阿波市 FSC エシカル基金	259,120	1	72,000	75 回	47,850 (3,600)	279,670
合計	5,906,994		1,286,174		854,938 (68,674)	6,269,556

■ファミサポ利用支援子育て基金 内訳

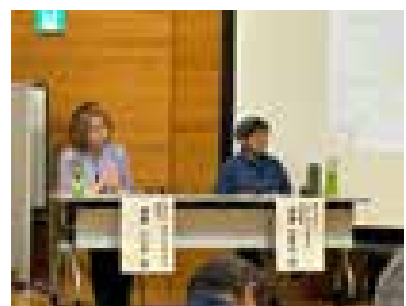
FSC・拠点リユース等	マンスリー	一般寄付	合計
291,689	146,455	199,350	637,494

(2) ハートフルゆめ基金とくしま 10 周年記念事業

■ 日 時：2025 年 7 月 26 日（土）13:00～16:30

■ 場 所：徳島県立中央テクノスクール ろうきんホール

ハートフルゆめ基金とくしまが 10 周年を迎えたことを機に「10 周年記念交流会」を開催しました。当日は **NPO20 団体**が会場内に**ブースを設置し、分野を超えた交流**を行いました。**基調講演**では、NOP 法人あわ・みらい創生社 代表 井原まゆみ氏による「**NPO の持続可能性を考える**」というテーマで、地域課題解決や継続することの重要性について講演を行いました。その後のパネルディスカッションでは、四国大学 副学長 加渡いづみ氏のファシリテートにより、「**連携・継続**」をテーマにディスカッションを実施しました。今後も地域課題解決に向けて共に歩んでいける関係づくりの強化をめざします。



(3) 他事業部との連携

■くーぽん丸。

くーぽん丸。冊子とアプリの広告を募集し、広告料金の 1/2 を「ハートフル社会貢献基金」の寄付として充当しています。

「くーぽん丸。2025」では**協力企業・団体は 14 団体**となりました。アプリ内では随時広告できることから、さらなる寄付募集に努めます。

協力企業・団体

(株) 徳島大正銀行／(公社) 徳島県労働者福祉協議会／(株) あわわ／(株) 金剛
全徳島建設労働組合フレッセ／徳島県経営者協会／徳島県商工会連合会／徳島商工会議所
徳島県中小企業団体中央会／生活協同組合とくしま生協／徳島バス(株)／四国労働金庫
マリッサとくしま／徳島人生たすけあい家

■各ファミサポや支援センター等との連携

各ファミサポや子育て支援センターでは、**リユースの持ち帰りの際にお気持ち募金**を呼び掛けています。リユースコーナーを訪れる人は年々増えていることもあり、**年間 8 か所で 291,706 円**となりました。

■ボランティア活動

ボランティア活動は支援のひとつの形です。ファミサポの活動やイベント等の手伝いに来られた方々の募金を通して実感しています。

■人材育成

2023 年 10 月よりライフサポート部が担当しています。今後も複数体制で担当することとし、担当者のスキルアップに努めるとともに、丁寧で継続性のある運営を行います。

■全国コミュニティ財団協会との連携

2023 年度に加盟した全国コミュニティ財団協会の研修やセミナーへ積極的に参加するとともに、全国のコミュニティ財団との交流を通じて知見を深め、基金運営や助成事業の充実につなげます。

(4) 広報の充実

■三つ折りパンフレットの作成

基金の目的や助成事業、寄付方法などを分かりやすく伝える**三つ折りパンフレット**を作成し、イベントや関係機関で配布します。

■HP の改修

「ほっとけん、なんとかでけんか、なんとかせな」という想いを前面に打ち出し、基金の仕組みや寄付方法、助成事業の内容を分かりやすく発信するため、**ホームページの改修**を行います。

(5) 「ハートフル社会貢献基金」助成金について

2020 年度・2021 年度の「新型コロナウイルス対策緊急支援」を契機として開始した助成事業は、2022 年度から「ハートフル社会貢献基金」として継続し、これまで 4 回の助成を実施しました。2026 年度も 5 月募集に向けて準備を進め、地域課題解決に取り組む団体への支援を継続します。

2025 年度助成団体

NPO 法人オーティの会

認定 NPO 法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会

(公財) 徳島の盲導犬を育てる会

NPO 法人スポーツ巡回ネットワーク

かけはしプロジェクト



(6) 円卓フォーラムの開催

NPO や市民活動団体、一般市民などを対象とした**対話の場**として円卓フォーラムを開催し、**地域課題解決に向けた議論の機会**を創出します。

少人数で定期的で開催する「ミニ円卓フォーラム（仮称）」についても検討を進め、関係者との意見交換や情報収集を行い、今後の事業展開につなげます。

第 11 回ハートフルゆめ基金とくしま円卓フォーラム

■ 日 時：2026 年 1 月 26 日（月）18:00～20:00

■ 場 所：アスティとくしま 3F 第2特別会議室



(7) 休眠預金のエントリー

休眠預金は、10 年以上取引のない預金等を社会課題の解決や民間公益活動の促進に活用する制度で、2019 年度から開始されています。

当財団では 2025 年度より**資金分配団体としてのエントリー**をこれまで 2 回行っています。

2026 年度は採択をめざし、体制整備とスキル向上に取り組めます。

（８）遺贈寄付の充実

2022 年度に全国レガシーギフト協会へ加盟し、2023 年度には講師を招いた研修を実施しました。関係 NPO や士業とのネットワークを活用し、**遺贈寄付の相談窓口としての機能整備**を進めるとともに、2026 年 3 月に NPO 法人 ALIVE LAB と締結した包括的連携協定に基づき、セミナーや交流会の開催など制度の周知に取り組みます。

（９）お宝エイドでの寄付募集

2025 年度に四国で初めて「お宝エイド」に参画しました。これは、不要になったハガキや切手などを郵送することで換金額に 10%が上乗せされ、基金へ寄付される仕組みです。現金以外の寄付方法が可能となったことから、制度の周知を進め、寄付の裾野拡大と基金の安定的な財源確保につなげます。



（10）寄付をしやすい仕組みづくり

くーぼん丸。による寄付付き広告、ファミサポでの募金箱設置、エシカル消費を通じた寄付など、身近な寄付の仕組みづくりを進めています。

また、**オンライン寄付システム「Syncable」**を 2025 年度から運用しており、**クレジット決済やマンスリー寄付の周知**を進めています。

さらに、**寄付決済システム「コングラント」**を導入し、**PayPay による決済**や寄付者情報管理、継続寄付の仕組みを整備することで、オンライン寄付の利便性向上と寄付拡大につなげます。

ボランティア活動についても、財団や助成団体の活動への参加を通じて、将来的な寄付や継続的な支援につながる取組として進めます。

7. ユニバーサル・カフェ 「つながり」 (つながり文化交流室)



ライフサポート部

つながり文化交流室は、共生社会の徳島創造に向け、『ユニバーサル・カフェ つながり』の事業に取り組んでいます。交流会の開催などを通じて、コミュニケーションを促進し、出身国という「見えない壁」を取り払い、さらにはハンディを抱える人たちも含む多様な人たちが集まり、日ごろの想いを語り、協力し合い、自己実現をめざすための第一歩となる場として取り組んでいます。

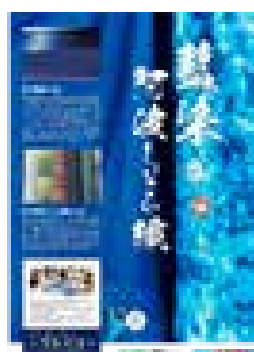
(1) クルーズ船「ノルウェー جان・スピリット」寄港時物産販売に参加

4月11日(金)、徳島県及び徳島県産業国際化支援機構から案内をいただき、クルーズ船「ノルウェー・ジャン・スピリット」が、小松島市赤石岸壁に一時寄港した際に、『ユニバーサル・カフェ つながり』で製作した藍製品のハンカチ・スカーフ等を販売いたしました。県特産の「藍染」を外国の方々に購入いただいたいただき、徳島県の国際交流に寄与できた1日となりました。



(2) 藍染小物製品（ハンカチ・ペンケース・ポーチ等）の委託販売

藍染&しじら織の魅力を県民や県内在住外国人に知ってもらい、普段の生活の中で、藍製品を使って欲しいとの想いで、『ユニバーサル・カフェ つながり』で製作した、ハンカチ・ペンケース・ポーチ等を、①徳島阿波おどり空港 スカイショップ ②阿波おどり会館 あるでよ徳島の2ヶ所で、5月末まで委託販売を行いました。



(3) つながりカフェの開設

2025年度中に、交流拠点『つながりカフェ』を開設するという目標を掲げていましたが、外国出身の担当職員の退職に伴い、2025年度の開設は断念しました。

しかし、ユニバーサルカフェつながりの原点に立ち戻り、外国人・障がいをもつ人など、誰もが

訪れることができる交流の場づくりに努めます。そのために、徳島県国際交流協会・JTM とくしま日本語ネットワーク、フードバンクとくしま等の関係団体にご協力いただきながら、下記の事業を引き続き実施してまいります。

- 交流会の開催
- 総合相談ダイヤル 外国人相談室

(4) 交流会の開催

県内在住の外国出身の方々が「徳島を選んでよかった」「もっと徳島が好きになりたい」と感じられ、日頃の思いを語り合い、互いを理解し合い、つながりを育む場として、交流会を開催しました。

回 数	開催日	内 容	会 場
第 34 回	2025 年 9 月 30 日 (火)	アメリカ ミズリー州の文化紹介とティータイム (お菓子付き)	当財団会議室
第 35 回	2025 年 10 月中旬～下旬	外国人向け食糧支援 (フードバンクとくしまとの連携)	徳島県労働福祉会館
第 36 回	2025 年 12 月 7 日 (日)	おもちつき大会&試食会	徳島県労働福祉会館 敷地
第 37 回	2026 年 1 月 25 日 (日)	ひょうたん島クルーズ乗船体験	徳島市新町川
第 38 回	2026 年 3 月 28 日 (土)	春の徳島城跡・中央公園散策	徳島市徳島中央公園



2025.9.30 アメリカ ミズリー州の文化紹介とティータイム



2025.12.7 おもちつき大会&試食会



2026.1.25 ひょうたん島クルーズ乗船体験



2026.3.28 春の徳島城跡・中央公園散策



8. 総合相談ダイヤル

NETWORK 総務部



中小企業サポート部



ライフサポート部

総合相談ダイヤルは、①『心の健康・相談室フォー・ユー』、②『働き方なんでも相談室』、③『ユニバーサルカフェ（つながり）外国人相談室』の三本柱で、主に電話による相談を実施しました。当財団の機関誌に加え、徳島新聞 情報とくしで、より広く広報を図り、公的機関や専門家との連携で、相談者に寄り添う総合窓口をめざし取り組みました。

【2025 年度相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心の健康相談室	2	2	1	1	0	0	3	2	1	1	1	1	15
働き方なんでも相談室	0	3	3	1	2	5	0	1	2	1	1	1	20
『つながり』外国人相談室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	5	4	2	2	5	3	3	3	2	2	2	35

- 6/21（土）日本産業カウンセラー協会四国支部の相談員による面談実施 1 名
- 11/15（土）日本産業カウンセラー協会四国支部の相談員による面談実施 1 名
- 1/8（木）面談（心の健康相談室担当者対応）

9. 調査・研究事業

2025 度は、**あわ～ず徳島で会員事業所を対象に大規模なアンケート調査**を行いました。コロナ禍後の社会の落ち着きとともに価値観や働き方が変化した一方、**円安・物価高・燃料費高騰など景気が不透明な状況**を背景に、中小企業の現状と今後の方向性を改めて把握することを目的として調査し、今後の福利厚生サービスの充実につなげます。

その他、各事業部で調査し、その根拠に基づき事業を展開してまいります。

あわ～ず徳島アンケート

実施規模：徳島県内の中小企業 約 1,000 事業所、従業員 約 5,000 名

実施期間：2026 年 1 月中旬～ 2 月下旬

集計分析：4 月上旬～ 5 月中旬（現在分析中）



中小企業サポート部

Ⅳ．収益事業

1. くーぽん丸。(収益事業1)



(1) くーぽん丸。アプリ

2022年9月1日より県下全域の店舗でサービスが開始され多くの方々に利用していただいています。今後、さらに店舗数やサービスの充実を図り、アプリの利用者数を増やすとともに、地元商店の活性化と消費者の可処分所得の増加、生活の安心の提供、限りある資源を大切に、**企業も、消費者も、地域社会も未来もみんなが幸せになれる社会の実現**をめざします。

くーぽん丸。アプリ利用状況



年月		ダウンロード数 (ios/And)	アクセス数	訪問者	クーポン総利用
2022 (2月～)		8,705(5728/2977)	51,967	27,943	2,694
2023		10,906(6603/4303)	119,866	60,833	20,416
2024		5,799(3369/2430)	121,512	64,436	29,829
2025	1	253(138/115)	7,552	4,272	2,299
	2	219(123/96)	6,957	4,007	2,114
	3	486(276/210)	9,113	4,925	2,492
	4	1,618(1050/568)	16,646	8,303	1,778
	5	890(561/329)	13,263	7,281	2,446
	6	362(215/147)	9,672	5,252	2,513
	7	322(153/169)	9,652	5,093	2,619
	8	303(146/157)	9735	5363	2949
	9	411(159/126)	7946	4661	2496
	10	354(196/158)	7942	4524	2296
	11	263(130/133)	8023	4457	2379
	12	287(153/134)	7716	4473	2320
	1	244(124/120)	7879	4365	2383
	2	217(135/82)	6728	4080	2062
	3	459(282/177)	8424	4858	2451
合計		32,098(19,667/12,431)	430,593	229,126	88,536

2026年3月31日現在

(2) あんしん情報サイトの充実

アプリ化に伴い、手元でいつでも確認できる「あんしん情報」が今まで以上に身近なものになっています。今年度は、定期的にイベント情報を更新し、**SDGsの観点から防災やエシカル消費も着目し見直し**を行っていきたいと考えています。

(3) スマホアプリの充実

2021年度、徳島市の「令和3年度徳島市コロナ危機突破プロジェクト創造支援事業」の採択を受けアプリ化の実現が叶いました。アプリ化することにより、「売り手よし、買い手よし、世間よし、未来よし」の「四方よし」を目標に、商店の活性化と消費者の可処分所得の増加、生活の安心の提供、作る責任として限りある資源を大切にすること、企業も、消費者も、社会も、未

来もみんなが幸せになれる社会の実現に向けて一歩踏み出しました。**開始から 31,377 ダウンロード**となり、今後は徐々にアプリへの移行を増やしていきたいと考えています。そのために今後も、技術的、財政的な課題に対処しながら、魅力あるアプリになるよう努めます。

(4) 寄付つき広告

2018 年度版からスタートした「寄付つき広告（広告料の 50%をハートフル社会貢献基金に寄付）」も 2025 年版で 8 年目となりました。アプリ化に伴い、アプリのトップ画面からも自動的に寄付広告を見ることができ、クリックすることでサイトへの移行が可能です。**2025 年版では 13 団体からの寄付広告がありました。**今後も広告することで CSR につながる活動であることをアピールしながら、賛同してくれる団体・企業を増やしていきます。

(5) 「くーぽん丸。」の多言語表示

少子高齢化、労働力人口の減少に伴い、外国人との共生も地域社会における大きな課題のひとつです。「くーぽん丸。」は、私たち財団事業の中でも特に生活に密着した事業です。**2019 年版からスタートした「くーぽん丸。」の多言語表記**（中国語と英語）を 2026 年版でも引き続き実施します。今後、更なる言語の追加についても検討してまいります。

(6) SNS 情報の発信

公式 LINE に加えて Instagram での発信を開始しました。**2025 年版での 20 周年記念プロジェクトでも #（ハッシュタグ）によるプレゼント企画を募集**しています。今後は、掲載店舗の情報や生活にお得な情報について積極的に発信していきます。

(7) 他事業との連携策の構築について

本誌やアプリ、ホームページ、LINE 会員などを通じて「あわ～ず徳島」や「ハートフルゆめ基金とくしま」、「ファミリー・サポート・センター」、「マリッサとくしま」などの情報、イベントなどを積極的に発信し、4 万人強の会員にアクションできる機能をフルに活かし、財団の広報はもとより、他事業と有機的な連携を図ります。

(8) くーぽん丸。20 周年

2025 年度版は「くーぽん丸。」の 20 周年記念号となりました。6 月に開催した「あい♡あいファミサポフェスティバル」でブースを設置し、くーぽん丸。販売促進員のお仕事体験を行いました。同時に、くーぽん丸。の着ぐるみも登場し、子どもたちとの記念撮影などで大いに盛り上がりました。



参加者に大人気のぽん丸ちゃん!?

2. 賃貸事業（収益事業2） **NETWORK 総務部**

当財団が所有する徳島県労働福祉会館に併設する土地を駐車場として賃貸しています。引き続き財産管理の安定した運営に努めることとします。

3. 指定管理事業（収益事業3） **NETWORK 総務部**

2025 年度も、両施設が「いつでも、どこでも、だれでも」が利用できる「多世代交流の場」として、いろんな世代の人々が集い交流できる三好市の一つの拠点として定着できるよう引き続き努めます。また、2 施設の利点を活かしつつ、連携しあうことでコストの削減、人的作業効率のアップを図ります。

（1）健康とふれあいの森

健康とふれあいの森においては 4 ～ 6 月については好調でしたが 7 月からの猛暑の影響が大きく、特に市内在住者のバーベキュー棟の利用が激減しており総利用者数もそれに伴い減少しました。施設利用料金については 13 パーセント増も、公園総訪問者数は「熱中症警戒アラート」の発令多発により、昨年同様減少の傾向が続くものと思われます。

また、6 月から人気遊具（「天空の滑り台」）が使用禁止になりましたが、SNS 等を活用した情報発信の強化と、施設の良い維持管理及び職員の丁寧なサービス提供に努め、公園への訪問者は、前年に比べ約 1 千人増加の 18,704 人となりました。しかし、バンガローやバーベキュー棟などの有料施設利用者は、前年に比べ約 150 人減少の 1,892 人となりました。



冒険の城の中の「天空の滑り台」が使用禁止に

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
公園訪問者数（人）	21,292	17,666	18,704
有料施設利用者数（人）	2,561	2,043	1,892

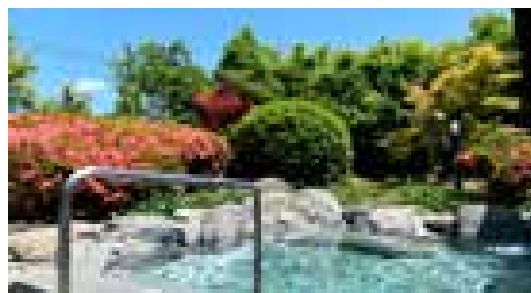


(2) 三好市ふれあい紅葉センター

紅葉温泉においては、温泉施設の老朽化、重油の高騰など厳しい経営は続いていますが、施設の良好な維持管理の徹底及び職員の親切・丁寧な対応等により、年間の入湯者数は**目標の55,000人を超える**ことができました。入湯者数の増加に伴い、入湯料収入、食堂等の販売収入も増加しました。

今後も、**健康とふれあいの森とのコラボを始め各種イベントを開催**し利用者増、地元及び利用者様の一層の満足度向上のため努力していききたいと思います。

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
年間入湯者数（人）	57,516	55,174	55,780



「紅葉温泉」露天風呂

一般（中学生以上）	17,782
70 歳以上	7,068
小学生	1,282
障がい者（大人・小人）	4,059
各種割引利用	7,242
回数券利用	15,791
ポイントカード利用	2,556
合 計	55,780



「紅葉温泉」外観

(3) 両施設共通

① 安心安全な運営

両施設とも、従来通り 安心・安全な運営に努めます。

② 三好市三野町に生誕の地 戦国天下人・三好長慶

「戦国天下人・三好長慶を NHK 大河ドラマに！」協議会構成団体として、両施設とも三好長慶を中心に、徳島の自然や歴史文化を発信することで、地域経済の活性化を応援しています。



2025.11.2 三好長慶武者行列まつり in 三好



2026.3.7 三好長慶武者行列まつり in 大東市